

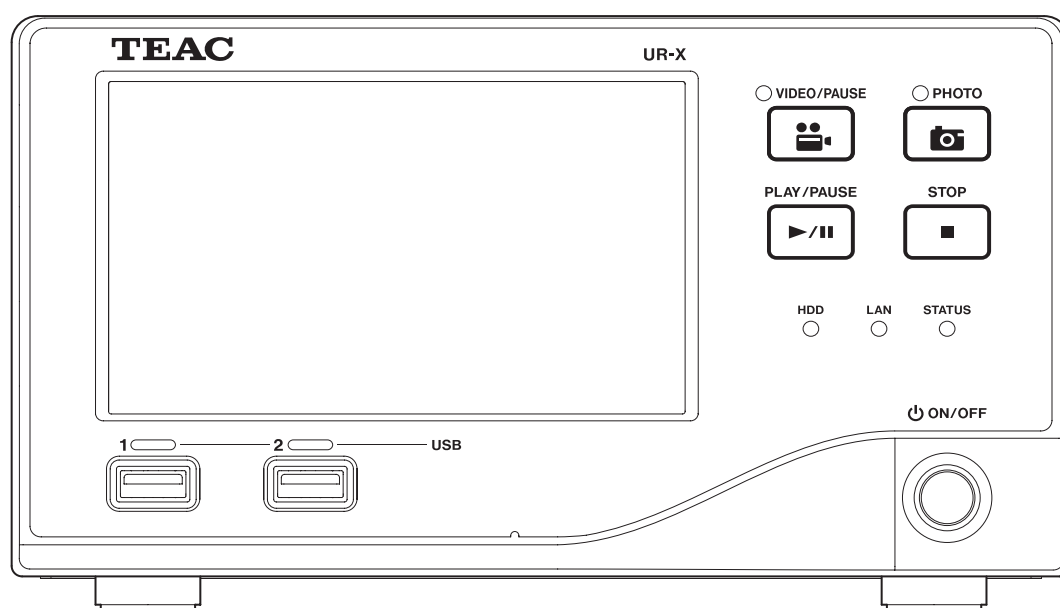
TEAC

取扱説明書

UR-X

DIGITAL VIDEO RECORDER

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保
管してください。
未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目次

目次	2	設定項目一覧	38
はじめに	3	設定	39
特徴	4	ネットワーク	44
本体に表示している記号について	5	患者情報設定	47
各種記号の意味	5	詳細	48
安全に関する重要な指示	6	メンテナンス	51
安全にお使いいただくために	12	セキュリティ	53
お使いになる前に	14	文字入力	54
付属品の確認	14	文字入力画面について	54
使用上の注意	14	文字の入力	54
内蔵 HDD について	14	エラーメッセージ一覧	55
内蔵電池	14	保守と保証	59
画像保管について	14	点検のすすめ	59
使用するメディアについて	14	本体のクリーニング	59
記録データについて	15	故障かなと思ったら	59
電源を入れる前の準備	18	保証について	60
入力ケーブルを接続する	18	廃棄するときは	60
出力ケーブルを接続する	18	仕様	61
音声入出力について	18	ソフトウェアに関する重要なお知らせ	63
電源コードを接続する	18		
フロントパネル	19		
リアパネル	20		
使ってみましょう	22		
電源を入れる	22		
LCD タッチスクリーン	22		
メインメニュー	23		
USB メディアをフォーマットする	23		
電源を切る	24		
記録前の準備	25		
入力信号の選択	25		
静止画画質の設定	25		
動画画質の設定	25		
記録する	26		
患者情報設定	26		
患者情報リストの問い合わせ	27		
静止画を記録する	27		
動画を記録する	28		
記録スタンバイを終了する	28		
直前に撮った画像を見る	28		
記録スタンバイ中に映像入力を切り換える	29		
記録画像の削除について	29		
再生する	30		
記録データ一覧	30		
ID 検索	31		
日付検索	32		
動画再生中の操作	33		
患者情報を変更する	34		
転送する / コピーする	35		
ネットワーク転送	35		
画像を転送 / コピーする	35		
設定操作	36		
現在の設定を表示	37		

免責事項

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

ANY USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER OTHER THAN PERSONAL USE THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, LLC, 6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400E, Greenwood Village, Colorado, 80111 U.S.A.

Microsoft および Windows は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは巻末の「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」に記載します。

特徴

本製品は各種映像装置からの映像信号を記録・再生するための装置です。動画には H.264、静止画には JPEG を採用し効率よく記録します。記録データは本製品の内蔵 HDD、USB メディア、ネットワークなどに保存することができます。

- **長時間の動画記録が可能です。**

H.264 方式で効率良く圧縮し、最大 24 時間の動画記録が可能です。

- **各種信号を入力できます。**

本製品は NTSC のコンポジットビデオ (VIDEO)、S-VIDEO、RGB、SD-SDI 信号に対応しています。また、高精細ビデオ信号は、3G-SDI/HD-SDI/DVI/HDTV(アナログハイビジョン) 信号に対応しています。

- **4 種類の静止画画質**

EQ (高圧縮)、SQ (標準画質)、HQ (高画質)、TIFF (非圧縮) の 4 種類の画質が選べます。

- **4 種類の動画画質**

EQ (高圧縮)、SQ (標準画質)、HQ (高画質)、XQ (最高画質) の 4 種類の画質が選べます。

- **便利なデータ管理情報を付加します。**

画像データにつぎのような情報を付け加えて記録できます。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく検索することができます。

日時 : 記録した日時
ID : 32 文字までの英数字
患者名 : 32 文字までの英数字
生年月日 : 32 文字までの英数字
性別 : 32 文字までの英数字
部位 : 32 文字までの英数字

- **サムネイル表示ができます。**

1 つの画面にサムネイル画像を表示して、その中から見たい画像を選ぶことができます。

- **そのままパソコンで表示できます。**

USB メディアに記録した画像は、USB メディアをパソコンに接続することで、パソコンで表示できます。

- **パソコンで歪みなく表示できます。**

画素が正方形になるように記録しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。


- **画像データを消去して再び記録できます。**

再フォーマットすることにより、USB メディア上のデータを全て消去し、そこに再び記録することができます。








- **本製品の使用には訓練を必要としません。**

本体に表示している記号について

前面 (フロント)

記号	機能
 ON/OFF	電源を入/切するためのボタンです。

背面 (リア)

記号	機能
~IN	電源入力端子です。付属の電源コードを接続してください。
	等電位化端子です。DIN 42801 に従った等電位化ケーブルを接続してください。
	LAN(ネットワーク)端子です。
	映像入力端子です。
	映像出力端子です。
	音声入力端子です。
	音声出力端子です。
	この表示のある端子は静電気により内部が破損する可能性があります。端子の接点部に素手で触れないようご注意ください。

各種記号の意味

UR-X 本体と付属品、および取扱説明書では、以下の種類の記号が使用されています。

それぞれの記号の意味を完全に理解した上で関連情報をお読みください。



この記号は製造者の名前と住所を示します。



この記号は製造日付を示します。



この記号は欧州における代表者の名前と住所を示します。



熱帯地域以外で使用してください。



海拔 2000m 以下で使用してください。



環境保護使用期限：10年



メディカル機器であることを示します。

安全に関する重要な指示



注意：感電の危険を軽減するために、カバーを外さない（または外したまま使用しない）でください。本体内部にユーザーが修理できる部品はありません。修理に関しては資格を有する修理担当者に相談してください。



正三角形に稲妻のマークは、本体内部に危険な電圧を扱う回路が絶縁されていない状態で設置され、人体に感電の危険をもたらす可能性があることを表しています。



正三角形に感嘆符のマークは、本製品に付属する資料（取扱説明書等）に重要な操作および保守・修理に関する指示があることを表しています。

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書をなくさないよう大切に保管してください。
3. 全ての警告に注意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 水の近くで本製品を使用しないでください。
6. 汚れを取る場合は、乾いた布を使ってください。
7. 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ヒーターや送風口、ストーブ、その他の熱を発生する機器（アンプを含む）など、熱源の近くに設置しないでください。
9. 極性または接地タイプの電源プラグは正しく使用してください。安全な電源接続のために、2つの刃（片方の刃が広いタイプ）を持つ極性プラグと、2つの刃に加え3つ目の接地ピンを持つ接地タイプのプラグがあります。付属のプラグがコンセントの形状に合わない場合は、電気工事技術者に相談の上、コンセントをプラグの形状を合うものに交換してください。
10. 電源コードを踏んだり、電源プラグや本体の電源コード接続部に無理な力がかからるように保護してください。
11. メーカーが指定するアクセサリ以外は使用しないでください。
12. 台車、スタンド、三脚、ブラケット、または設置台は、メーカーが指定したもの、または本体と一緒に販売されたもののみを使用してください。台車を使用する場合は、移動時に本体が転倒して怪我をしないように注意してください。



13. 雷が鳴っている時や、長期間使用しない場合は電源コードを抜いてください。
14. 修理をする場合は、資格を有する修理担当者にすべての作業を依頼してください。電源コードやプラグが損傷したり、液体がこぼれたり、物体が本体に落ちたり、本体が雨や湿気にさらされたり、本体を落下させたり、正常に動作しないなど、本体が損傷した場合は修理が必要です。

- 水滴や水しぶきがかかる場所に本製品を設置しないでください。
- 液体が入った物体を本製品の上に置かないでください。
- 本箱などの狭い場所に本製品を設置しないでください。
- いつでもすぐに電源コードを抜けるように、本製品はコンセントの近くに設置してください。
- 電源プラグは電源遮断手段でもあり、すぐに電源プラグに手を伸ばせる状態を確保してください。
- クラスⅠ製品には、3極接地プラグのある電源コードが装備されています。
- このタイプの電源プラグは接地端子のあるコンセントに接続してください。
- 製品が電池（バッテリーパックまたは内蔵バッテリーを含む）を使用している場合、バッテリー部を太陽光、火、または過度の熱にさらさないでください。
- イヤホンまたはヘッドホンを使用する場合は、イヤホンまたはヘッドホンからの過度の音圧（音量）により聴覚障害を引き起こす可能性があり、注意が必要です。

警告：火災や感電の危険を防ぐため、本製品を水滴や極端に高い湿度に晒さないでください。

注意

- 外部のケースやキャビネットを取り外して、内部の電子回路を露出させないでください。ユーザーが修理できる部品は使用していません。
- 本製品を使用中にトラブルに遭遇した場合、最寄りの弊社営業所またはティアック修理センターにご相談ください。修理が完了するまで本製品を使用しないでください。
- この取扱説明書で述べられている以外の手順の操作、調整、または使用すると、危険な放射線被ばくを引き起こす可能性があります。

使用目的

本製品は医療施設で使用するためのビデオレコーダーです。手術用顕微鏡、内視鏡カメラ、医療用ディスプレイ、および同様のデバイスと組み合わせて、検査および手術のバックアップ記録に使用することを目的としています。本製品は診断に使用することを目的としていません。本製品は医療従事者による使用を目的としています。本製品は取扱説明書に従って使用してください。

推奨使用環境

本製品は診療室や手術室などの医療環境での使用を目的としています。本製品はレストラン、カフェ、ショップ、店舗、市場、学校、教会、図書館、屋外（通り、歩道、公園）、車両（車、バス、電車、船、航空機、ヘリコプター）、電車、駅、バス停、空港、ホテル、ホステル、ペンション、美術館、劇場等での使用を想定していません。本製品は無菌環境での使用を要求しません。本製品は稼働状態での振動衝撃は禁止しています。本製品は救急車や搬送中の使用は出来ません。本製品はユーザーの為に保護具を必要としません。本製品の使用頻度は1日当たり8時間を想定し、繰り返し使用できません。

廃棄方法

ご使用の地域の廃棄方法に従ってください。

事故報告について

本製品に関連して重大な事故が発生した場合は、製造者、およびユーザーおよび/または患者がいる加盟国の管轄当局に、報告する必要があります。

安全に関する重要な指示

医療環境で使用するための EMC に関する重要な情報

- 本製品には EMC に関する特別な予防措置が必要で、この使用説明書に記載されている EMC 情報に従って設置および使用してください。
- 携帯電話などのポータブルおよびモバイル RF 通信機器は、本製品に影響を与える可能性があります。
- 静電気により誤動作する可能性があります。動作中に USB メディアを接続または切断しないでください。
- 本製品は専門的ヘルスケア環境で使用することを目的としています。

指針と製造業者の宣言 - 電磁エミッション

本製品は以下に示す電磁環境での使用を目的としています。
使用者は以下の環境で使用されることを確認してください。

エミッション試験	適合規格	電磁環境に関するガイドライン
RF エミッション CISPR 32	クラス A	本製品は、以下の警告に留意することを条件に、国内の施設や、家庭用の建物に電力を供給する公共の低圧電源ネットワークに直接接続されている施設を含む、すべての施設で使用できます。 警告 ：この機器は CISPR 32 のクラス A に準拠しています。 住宅環境では、この機器は無線干渉を引き起こす可能性があります。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカー排出 IEC 61000-3-3	適合	

注意

本製品を他の機器と並べたり積み重ねて使用する場合は、その状態で正常に動作することを確認してください。

EMC 試験に使用されたケーブルの一覧

ケーブルの種類	仕様
AC 電源コード	2 m、シールドなし
S-VIDEO IN 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
VIDEO IN 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
DVI IN 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
SDI IN 端子ケーブル	5 m、シールドあり
S-VIDEO OUT 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
VIDEO OUT 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
DVI OUT 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
SDI OUT 端子ケーブル	5 m、シールドあり
ETHERNET ケーブル	3 m、シールドあり
AUDIO IN 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
AUDIO OUT 端子ケーブル	1.5 m、シールドあり
TRIGGER 1 端子ケーブル	4 m、シールドあり
TRIGGER 2 端子ケーブル	4 m、シールドあり

指針と製造業者の宣言 - 電磁イミュニティ

本製品は以下に示す電磁環境での使用を目的としています。
 使用者は以下の環境で使用されることを確認してください。

耐性試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境に関するガイドライン
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±15 kV 空中	±8 kV 接触 ±15 kV 空中	設置される床は、木材、コンクリート、またはセラミックタイルであること。床に合成材料が使われて場合、相対湿度は少なくとも 30% であること。
電気的高速過渡 / パースト IEC 61000-4-4	±2 kV 電源線用 ±1 kV 入出力線用	±2 kV 電源線用 ±1 kV 入出力線用	電源の品質は一般的な商業環境または病院環境のものであること。
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV 差動モード ±2 kV コモンモード	±1 kV 差動モード ±2 kV コモンモード	電源の品質は一般的な商業環境または病院環境のものであること。
電源入力線の電圧ディップ、 短時間の中断、電圧変動 IEC 61000-4-11	0% UT (UT 100% ディップ) 1 サイクル 70% UT (UT 30% ディップ) 25 サイクル 0% UT (UT 100% ディップ) 5 秒 (50Hz : 10 サイクル、 60Hz : 12 サイクル)	0% UT (UT 100% ディップ) 1 サイクル 70% UT (UT 30% ディップ) 25 サイクル 0% UT (UT 100% ディップ) 5 秒 (50Hz : 10 サイクル、 60Hz : 12 サイクル)	電源の品質は一般的な商業環境または病院環境のものでなければなりません。
電流周波数 (50/60Hz) 磁場 IEC 61000-4.8	30 A/m	30 A/m	主電源の停電中に継続的な操作を必要とする場合、本製品に無停電電源装置またはバッテリーから電力を供給することをお勧めします。

注：UT は試験レベルの適用前の交流電源です。

安全に関する重要な指示

指針と製造業者の宣言 - 電磁イミュニティ

本製品は以下に示す電磁環境での使用を目的としています。
 使用者は以下の環境で使用されることを確認してください。

耐性試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境に関するガイドライン
伝導 RF IEC 61000-4-6	150 kHz ~ 80 MHz (ISM バンド帯域外 c)	3 Vrms	ポータブルおよびモバイル RF 通信機器は、送信機器の周波数から割り出される距離よりも本体およびケーブルを離して使用してください。 推奨隔離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$
	150 kHz ~ 80 MHz (ISM バンド帯域内 c) 6 Vrms	6 Vrms	
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	3 V/m	$d = 2.0 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 2.7 GHz P は送信機メーカーが公表する出力単位 (W) の送信機器の最大出力電力定格であり、d はメートル (m) 単位の推奨隔離距離です。 固定 RF 送信機からの電磁界強度は、電磁サイト調査 a によって決定され、各周波数範囲 b の適合レベルよりも低くなければなりません。 次の記号がある機器の近くでは、干渉が発生する可能性があります。

補足 1: 80MHzでは、高い方の周波数帯域が適用されます。

補足 2: これらのガイドラインは全ての状況に適用できるわけではありません。電磁波の伝播は、構造物、物体、人体からの吸収や反射の影響を受けます。

a. 無線（セルラー / コードレス）電話や陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送、テレビ放送などの固定送信機の電界強度は、理論的に正確に予測することはできません。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁サイト調査を検討してください。本製品が使用されている場所で測定された電界強度が上記の該当する RF 適合レベルを超える場合は、本製品を観察して正常な動作を確認する必要があります。異常な動作が見られる場合は本製品の向きや位置を変えるなど、さらなる対策をとってください。

b. 150kHz ~ 80MHz の周波数帯域では電界強度は 3V/m 未満である必要があります。

c. 150kHz ~ 80MHz の ISM (産業、科学、医療) 帯域は 6.765MHz ~ 6.795MHz、13.553MHz ~ 13.567MHz、26.957MHz ~ 27.283MHz、および 40.66MHz ~ 40.70MHz です。

指針と製造業者の宣言 - 電磁イミュニティ

本製品は放射される RF 障害がコントロールされる電磁環境での使用を目的としています。
 本製品のパフォーマンス低下を防ぐため、ポータブル RF 通信機器から 30 cm 以上離して使用してください。






耐性試験	帯域 [Ⓐ]	通信サービス名称 [Ⓐ]	変調	IEC 60601 試験レベル	適合レベル
RF 無線通信機器からの近接フィールド IEC 61000-4-3	380 ~ 390 MHz	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	27 V/m	27 V/m
	430 ~ 470 MHz	GMRS 460 FRS 460	FM ±5kHz 偏差 1 kHz サイン波	28 V/m	28 V/m
	704 ~ 787 MHz	LTE Band 13, 17	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m
	800 ~ 960 MHz	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 18 Hz	28 V/m	28 V/m
	1,700 ~ 1,990 MHz	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	2,400 ~ 2,570 MHz	Bluetooth® WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	5,100 ~ 5,800 MHz	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m




注：これらのガイドラインはすべての状況に適用できるわけではありません。電磁波の伝播は、構造物、物体、人体からの吸収や反射の影響を受けます。






[Ⓐ]. 一部の通信サービスでは、アップリンク周波数のみが含まれています。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本製品の下敷きにしな 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 15cm 以上、背面から 10cm 以上、側面から 20cm 以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>安全の為、機器内部の回路または各信号コネクターと患者を同時に触らない 感電の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に液体などが入った容器を置かない 内部に液体が入ると火災・感電の原因となります。</p>

 <h2>警告</h2> <p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	
 分解禁止	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p>
	<p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
 高温	<p>高温注意 本製品は故障状態にて本体表面が熱くなり、触ると火傷を負う危険性があります。</p>

 <h2>注意</h2> <p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>	
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります</p>
	<p>長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 指示	<p>各種周辺機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する</p>
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
	<p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。 加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p>濡れた手で操作及び電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社営業（裏表紙に記載）にご連絡ください。

取扱説明書（本書）	1冊
電源コード（PS206）	1本
ケーブルクランプ	1個

使用上の注意

- 確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。
 - 温度：5～40℃
 - 湿度：30～80%RH（非結露）
 - 最大湿球温度 29℃
- 水平に設置し、振動・衝撃を避ける
本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 本製品を移動したり、輸送などで梱包する場合は、全てのケーブル、デバイスを取り外してください。端子を損傷する恐れがあります。
- テレビ放送の電波状態により、本製品の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本製品やテレビの故障ではありません。このような場合は本製品を十分にテレビから離してお使いください。
- 誤動作等の原因となることがありますので、次のような場所で使用しないでください。
 - ・高周波を発生する機器の近く
 - ・強力な磁気、静電気のあるところ

医療環境で使用する場合の注意事項（重要）

本装置に接続されるすべての設備は、IEC60601-1規格、あるいは IEC/ISO 規格に適合した機器とすること。

内蔵 HDD について

本製品は HDD（ハードディスクドライブ）を内蔵しています。HDD は衝撃や振動、温度など周囲の環境の変化を受けやすく、記録されている画像に影響を及ぼす可能性があります。

以下のことにご注意下さい。

- ・振動、衝撃を与えないで下さい。
- ・水平な場所に置いてご使用下さい。
- ・HDD アクセス中に電源を切らないで下さい。

注意

内蔵 HDD に記録した内容の長期保管は保証できません。また、古い画像から自動削除します。大切な画像データは、LAN または USB メディア経由でパソコンや DVD などでの保管を推奨します。

注意

HDD には寿命があり、使用状態によっては数年で不良が発生する場合があります。記録または再生が出来なくなった場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

内蔵電池

本製品は内蔵の時計を動かすための電池を持っています。この電池が切れると正確な時刻保持ができなくなり、記録した時刻に影響があります。寿命が来る前に 5 年ごとに交換することをおすすめします。交換が必要になった際は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）までご用命ください。

画像保管について

記録した画像を長期間保管するには、パソコンや DVD などでの保管を推奨します。

使用するメディアについて

本製品には、USB メモリー、USB HDD が接続可能です。記録する前に本製品でフォーマットしてください。本書では USB メモリー/HDD のことを USB メディアと記載します。

記録データについて

患者情報の入力毎にフォルダーを作成します。
フォルダー名は「年月日時分秒_ID」です。

yyyymmddhhmmss_ID

メモ

IDの中にファイル名として使用できない文字があった場合は、その文字を「#」に置き換えます。

フォルダー情報は記録終了時（ホームアイコンをタップして、記録状態を終了したとき）に更新されます。

IDが登録されていない場合は、フォルダー名のIDの部分には「\$yyyymmddhhmmss」が付加されます。

フォルダー構成

¥（ルートディレクトリ）

PatientList.html	: html ファイル
20201216154525_000012345	: 患者管理フォルダー
├ video_files	: 動画格納フォルダー
│ └ 000001-001.JPG	: サムネイルファイル
│ └ 000001-001.MTS	: 動画ファイル
│ └ 000002-001.JPG	: サムネイルファイル
│ └ 000002-001.MTS	: 動画ファイル
│ └ 000004-001.JPG	: サムネイルファイル
│ └ 000004-001.MTS	: 動画ファイル
│ └ 000005-001.JPG	: サムネイルファイル
│ └ 000005-001.MTS	: 分割動画ファイル
│ └ 000005-002.MTS	: 分割動画ファイル
│ └ 000007-001.JPG	: サムネイルファイル
│ └ 000007-001.MTS	: 動画ファイル
├ photo_files	: 静止画格納フォルダー
│ └ 000003.jpg	: 静止画像ファイル（数字は録画順）
│ └ 000006.jpg	: 静止画像ファイル
└ Files.html	: フォルダー内画像一覧
20201216181554_0000112255	: 患者管理フォルダー
├ video_files	: 動画格納フォルダー

お使いになる前に

記録した画像をパソコンで見る（メディア内 HTML）

記録されたフォルダー（患者）情報・画像情報はパソコンのブラウザ上に表示することが可能です。

記録フォルダー一覧

記録された USB メディアにはフォルダー一覧 html (PatientList.html) が作成されます。

UR-X

Folder List(Patient)

No	Date	ID	Name	D.O.B.	Sex	Num of image
1	2020/09/25	00001822	Suzuki Hanako	1960-12-25	F	4
2	2020/09/05	00002457	Yamada Taro	1955-03-19	M	1
3	2020/08/29	00001206	Tanaka Masayoshi	1950-06-18	M	6

Total 3 folder

- No : メディア内のフォルダー番号
コピーした順番に表示されます。
- Date : 記録日
- ID : 患者 ID、リンク（フォルダー内画像一覧へリンク）
- Name : 患者名、リンク（フォルダー内画像一覧へリンク）
- D.O.B. : 患者生年月日（格納されている文字列をそのまま表示）
- Sex : 患者性別
- Num of image : フォルダー内の画像数（フォルダーへのリンク）

フォルダー内画像一覧

フォルダー（患者）をクリックした後に下記画像一覧が表示されます。

Video/Photo List

Folder : [00001206](#)
 Date/Time : 2020/08/29 12:21:38
 ID : 00001206
 Name : Tanaka Masayoshi
 D.O.B. : 1950-06-18
 Sex : M

Num of image : 6

No	File	Size (Byte)	Length
1	000001-001.mts	14,420,173	00:00:09
2	000002-001.mts	15,204,545	00:00:08
3	000003.jpg	221,841	Photo
4	000004.jpg	91,937	Photo
5	000005.jpg	159,773	Photo
6	000006-001.mts	35,745,617	00:00:25

No : フォルダ内画像番号、分割動画は「-」表示
 File : ファイル名（リンク）
 Size : 実際のファイルサイズ
 Length : 記録時間、静止画の場合は「Photo」、分割動画は「-」表示

電源を入れる前の準備

電源を入れる前に行う接続と設定について説明します。ここで説明する接続、設定が終わるまでは電源を入れないでください。

接続するのは、電源、ビデオ入力、ビデオ出力です。

入力ケーブルを接続する

本製品は標準ビデオの S-VIDEO、VIDEO、RGB の 3 つの入力端子と高精細ビデオの SDI/DVI(DVI-I) の入力端子をもちます。使用する端子に入力ケーブルを接続してください。

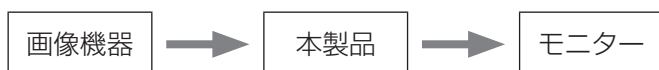
出力ケーブルを接続する

本製品は標準ビデオの S-VIDEO、VIDEO、RGB の 3 つの出力端子と高精細ビデオの SDI/DVI(DVI-I) の出力端子を持ちます。

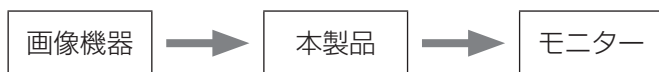
使用する端子に出力ケーブルを接続してください。

- 電源を切っても画像が見られるようにするには
下図の接続例 1 では、本製品の電源を切るとモニターで入力画像を見ることはできません。接続例 2 のようにつなぐと、本製品の電源を切っても入力画像を見ることができます。

接続例 1



接続例 2



本製品への入力とは別の信号

音声入出力について

本製品は音声入力 / 出力端子があります。必要に応じて音声入力 / 出力端子を接続します。

電源コードを接続する

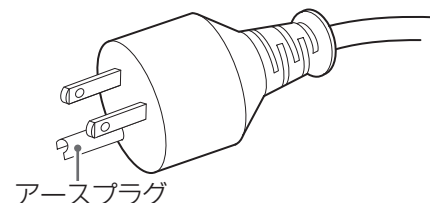
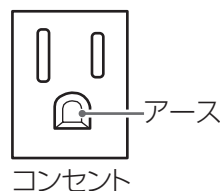
注意

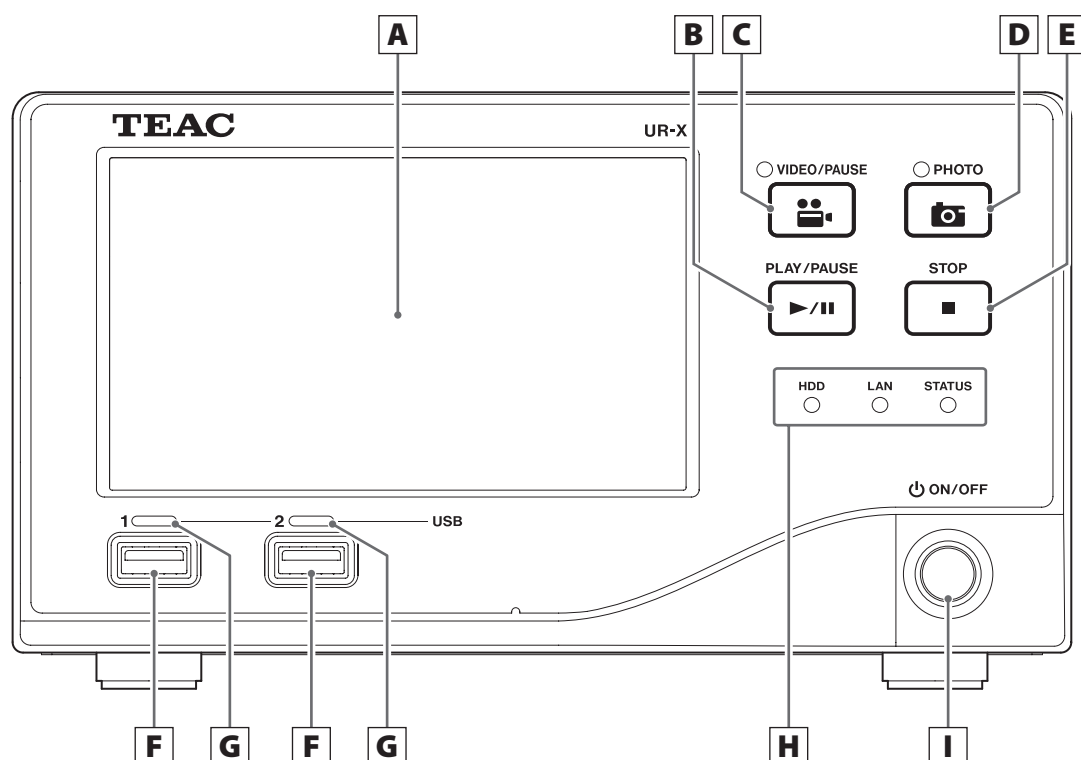
本製品の電源は AC100-240V±10% (50/60Hz) です。それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。

感電事故を防ぐため、絶縁トランスを使用してください。

付属の電源コードを本体リアパネルの電源入力端子に接続してください。

電源コードのプラグをコンセントに接続してください。電源コードは 3 芯式です。安全のため 2 芯式コンセント (アースなし) には接続しないでください。





A LCD タッチパネル

時計や状態を表示します。

B 再生 / 一時停止ボタン (PLAY/PAUSE)

動画の再生 / 一時停止を行います。
動画再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと動画再生を再開します。

C 記録 / 一時停止ボタン (VIDEO/PAUSE)

動画の記録 / 一時停止を行います。
動画記録中に押すと一時停止し、もう一度押すと動画記録を再開します。
動画記録中には LED が点灯します。
一時停止中には LED が点滅します。

D 静止画ボタン (PHOTO)

静止画を記録します。(27 ページ)
静止画を記録すると LED が橙点灯 (約 0.5 秒) します。

E 停止ボタン (STOP)

動画記録の停止または動画再生の停止を行います。

F USB 端子

USB メディアを接続します。

注意

USB ハブの接続はできません。

G USB アクセス表示 LED

USB 1、USB 2 のアクセス状態を表します。

消灯 : USB なし
緑点灯 : USB 待機中
緑点滅 : USB 読み込み中
橙点滅 : USB 書き込み中

H 状態表示 LED

本製品の動作状態を表します。

HDD
緑点灯 : HDD 待機中
緑点滅 : HDD 読み出し中
橙点滅 : HDD 書き込み中

LAN

消灯 : ネットワークのリンク信号なし
緑点灯 : ネットワークのリンク信号あり
緑点滅 : ネットワークアクセス中

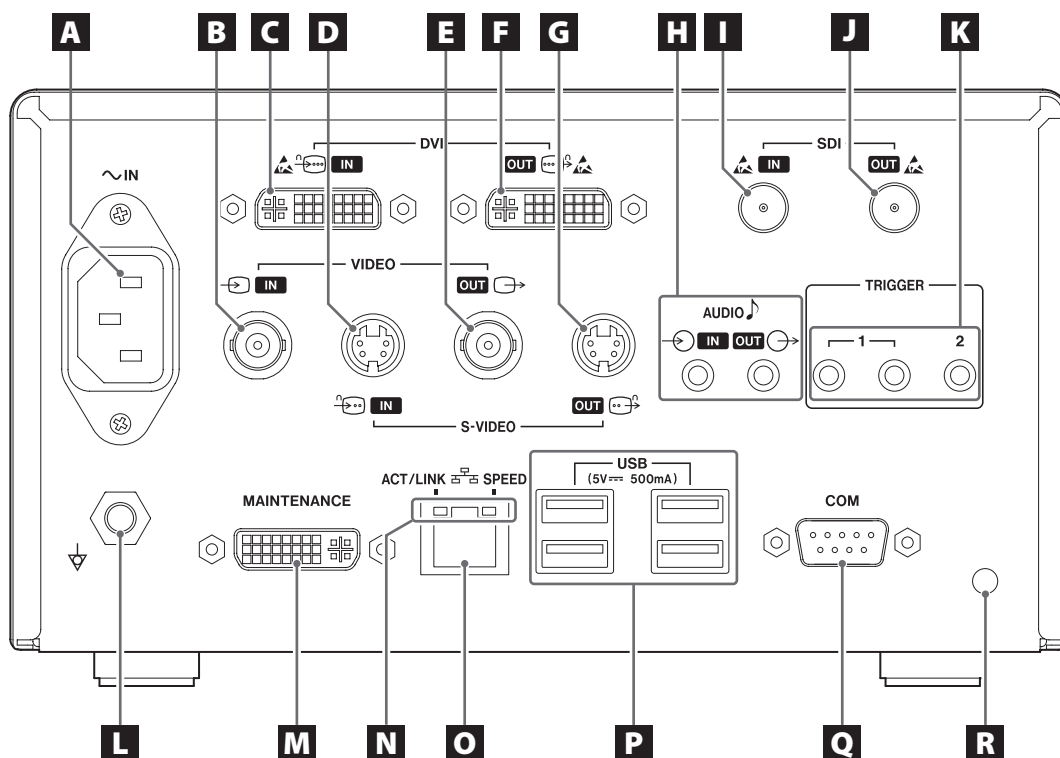
STATUS

消灯 : 操作不可
緑点灯 : 記録可能状態
橙点灯 : 入力信号未検出

I 電源ボタン (ON/OFF)

押すと電源がオンになります。もう一度押すと切れます。
電源がオンになると青色に点灯します。

リアパネル



A 電源入力端子 (~IN)

付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接地してください。

B VIDEO 入力端子 (㊦)

VIDEO/COMPOSITE (NTSC) 信号を入力します。(BNC)

C DVI/HDTV 入力端子 (㊦)

DVI(DVI-D) ビデオ信号、HDTV(DVI-A) 信号または NTSC RGB 信号を入力します。
HDTV または NTSC RGB 信号を使用する場合、DVI-VGA 変換アダプタをご使用下さい。

D S-VIDEO 入力端子 (㊦)

S-VIDEO (NTSC) 信号を入力します。(S 端子)

E VIDEO 出力端子 (㊦)

VIDEO/COMPOSITE (NTSC) 信号を出力します。(BNC)

F DVI/HDTV 出力端子 (㊦)

DVI(DVI-D) ビデオ信号、HDTV(DVI-A) 信号または NTSC RGB 信号を出力します。
HDTV 信号または NTSC RGB 信号を使用する場合、DVI-VGA 変換アダプタをご使用下さい。

G S-VIDEO 出力端子 (㊦)

S-VIDEO (NTSC) 信号を出力します。(S 端子)

H AUDIO(音声) 入力端子 (㊦) / 出力端子 (㊦)

IN

音声信号を入力します。(3.5mm ステレオミニジャック)

OUT

音声信号を出力します。(3.5mm ステレオミニジャック)

I SDI 入力端子

SDI ビデオ信号を入力します。(BNC)

J SDI 出力端子

SDI ビデオ信号を出力します。(BNC)

K 外部トリガ端子

外部接点スイッチ等を接続します。
(3.5mm ステレオミニジャック)

L 等電位化端子 (♣)

DIN42801 に従った等電位化ケーブルを接続してください。

医療機器と組み合わせて使用される際は専用のケーブルで機器と機器を接続してください。

M MAINTENANCE

この端子はサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。(DVI)

N LAN ステータス LED**ACT/LINK**

消灯 : LINK なし

橙点灯 : LINK 中

橙点滅 : データ送受信中

SPEED

消灯 : 10M speed

橙点灯 : 100M speed

緑点灯 : 1G speed

O LAN 端子 (RJ45)

ネットワークに接続します。

接続および設定は当該ネットワーク管理者の指示に従ってください。

(100 Base-TX/1000 Base-T(RJ45))

P USB 端子

オプションのカードリーダー、バーコードリーダーを接続します。

- USB メディアは接続できません。

注意

USB ハブの接続はできません。

Q COM

この端子はサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。(D-SUB 9Pin)

R ケーブルクランプ取り付け穴

付属のケーブルクランプを取り付けます。

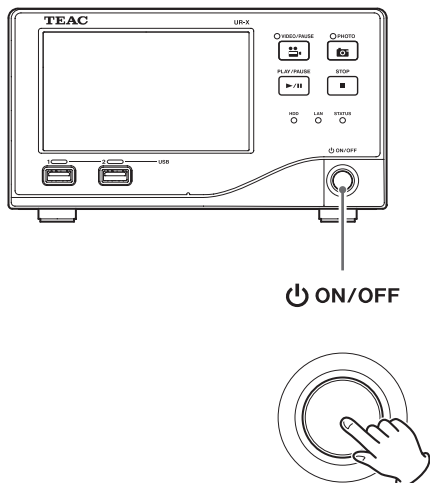
接続ケーブル端子にストレスがかからないようにクランプしてください。

使ってみましょう

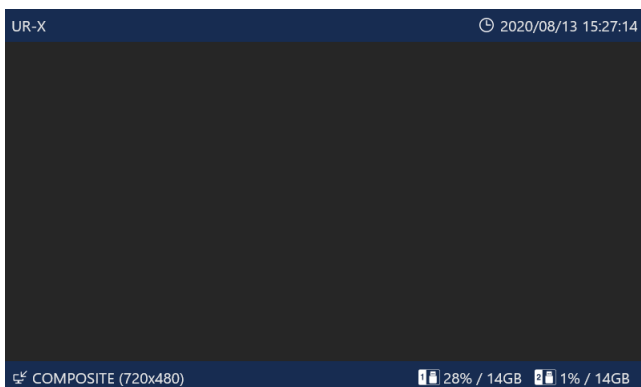
電源を入れる

モニター、画像機器、本製品の順に電源を入れてください。

前面パネルの電源ボタンを押します。



LCD に下記画面が表示されたら起動完了です。



- 約 40 ~ 50 秒で起動します。

LCD タッチスクリーン

LCD には、以下の情報が表示されます。



a 現在の年月日時分秒

b 映像入力の状態と解像度

例)

NO VIDEO (COMPOSITE) : 映像信号なし (選択中の映像入力端子)

COMPOSITE (720x480) : COMPOSITE 入力 (解像度)

DVI (1920x1080) : DVI 入力 (解像度)

c 接続されている USB メディア

USB メディアの接続場所を表示します。

1 : USB1 ポート

2 : USB2 ポート

d 使用量 / 空き容量

接続されている USB メディアの使用量を%で表示します。右側はデバイスの記録可能な全容量を GB で表示します。

- USB メディアが接続されていないときは何も表示されません。

メインメニュー

LCD の任意の位置をタップすると下記画面が表示されます。



希望の設定の項目をタップします。
「Back」をタップすると IDLE 状態に戻ります。

設定の詳細は 38 ページの「設定項目一覧」を参照して下さい。

⚠ タッチパネルは、指で軽く押してください。
注意 硬い物や尖った物で押さないでください。タッチパネルが破損することがあります。
タッチパネルは、同時に複数ヶ所を押さないでください。正しく認識できないことがあります。

USB メディアをフォーマットする

1 電源投入後、IDLE 状態で LCD をタップしてメインメニューを表示させる。



2 「メンテナンス」をタップする。



3 「USB メディアフォーマット」をタップする。



4 フォーマットを行うメディアをタップする。



5 「実行」をタップしてフォーマットを開始する。

フォーマットを行わない場合は、「キャンセル」をタップしてください。メディア選択の画面に戻ります。

数秒でフォーマットが終了します。

- 本装置のフォーマットは簡易フォーマットです。物理的に全データエリアを消去したい場合は、パソコン等でフォーマットしてください。

注意

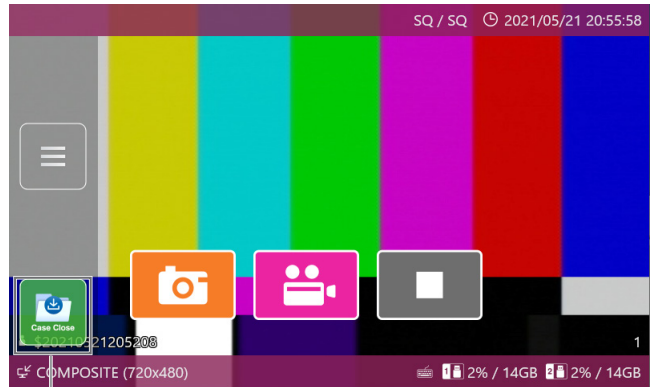
フォーマットすると USB メディアに保存されているデータは全て消去されます。

注意

本装置で使用するメディアは、必ず本装置でフォーマットしてください。異なった機器でフォーマットしたものをを使うと不具合の原因になります。

電源を切る

1 LCD の表示が IDLE 状態でなければ、
または「Back」をタップする。



LCD の上下バーが青色の IDLE 状態になります。

2 前面パネルの LAN/HDD/USB の各 LED が点滅していないことを確認して電源ボタンを押す。

- LAN/HDD/USB の各 LED が点滅しているときはアクセス中を示します。(19 ページ) 点滅しなくなるまで待ってください。

注意

LCD の表示が IDLE 状態であっても、前面パネルの LAN/HDD/USB の各 LED が点滅中は内部で処理を行っています。この状態で電源を切るとデータ破壊、故障の恐れがあります。

注意

電源を切った後に再度電源を入れる場合は、約 20 秒待ってから、電源を入れてください。(20 秒以上、電源切状態を保持して下さい)

記録の前に以下の項目を設定してください。

入力信号の選択

COMPOSITE、S-VIDEO、RGB、HDTV、DVI、SDI の、どのビデオ信号を記録するかを選択します。

1 IDLE 状態でメインメニューを表示させ「映像入力選択」をタップする。

2 希望の映像信号をタップする。

初期値は「COMPOSITE」です。

COMPOSITE	: コンポジットビデオ
S-VIDEO	: S-VIDEO
RGB	: RGB4 線式ビデオ
HDTV	: 1080i RGB
DVI	: 1080i/1080p
	1920x1200 (60Hz)
	1280x1024 (60Hz)
	1280x960 (60Hz)
	1024x768 (60Hz)
SDI	: 1080p/1080i/720p/480i

● 標準ビデオ入力 (COMPOSITE/S-VIDEO/RGB/SD-SDI)

動画 : 720x480 29.97fps で記録します。
静止画 : 640x480 サイズで記録します。

● 高精細ビデオ入力 (HDTV/DVI/HD-SDI/3G-SDI)

動画 : 1920x1080 60/50/30fps で記録します。
静止画 : 信号解像度サイズで記録します。

● 選択した信号が本製品に入力されていない場合、LCD 左下に「NO VIDEO」と表示され、記録動作を行うと「映像入力がありません」と表示され画像を記録することができません。

静止画画質の設定

EQ(高圧縮)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、TIFF(非圧縮=最高画質)から、記録時の画質を選択します。(41 ページ)

1 IDLE 状態でメインメニューを表示させ「設定」をタップする。

2 「静止画記録」をタップする。

3 「静止画記録画質」をタップする。

4 希望の画質をタップする。

動画画質の設定

EQ(高圧縮)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、XQ(最高画質)から動画記録時の画質を選択します。(42 ページ)

1 IDLE 状態でメインメニューを表示させ「設定」をタップする。

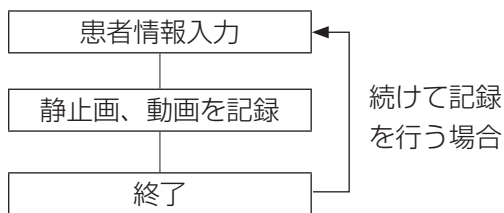
2 「動画記録」をタップする。

3 「動画記録画質」をタップする。

4 希望の画質をタップする。

記録する

LCD のタップと操作パネルのボタン操作を行って、以下の手順で作業します



患者情報設定

1 LCD の表示が IDLE 状態であることを確認する。

IDLE 状態でないときは「Back」または  をタップし、IDLE 状態にします。

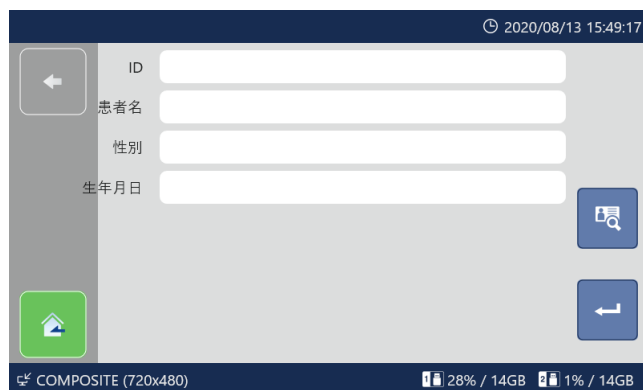
2 LCD をタップしメインメニューを表示させる。



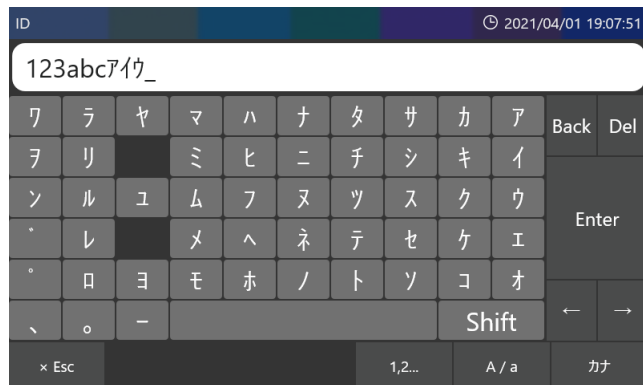
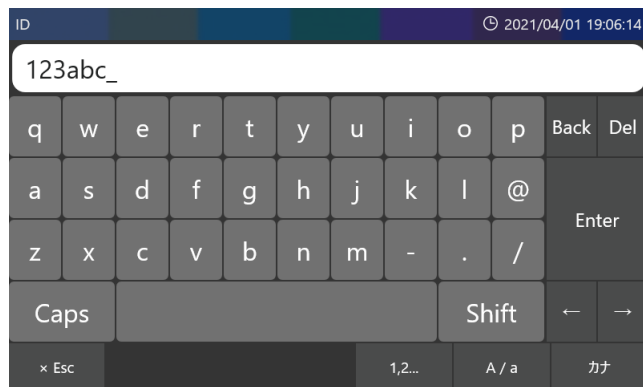
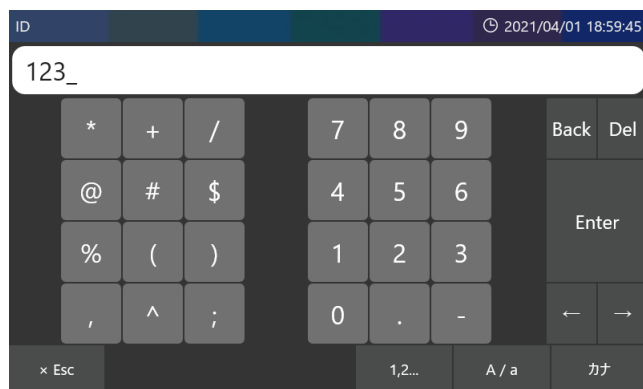
3 「患者情報」をタップし、「患者情報入力」をタップする。



4 入力したい情報欄をタップして入力画面を表示させる。



5 文字を切り換えて情報を入力し、「Enter」をタップする。

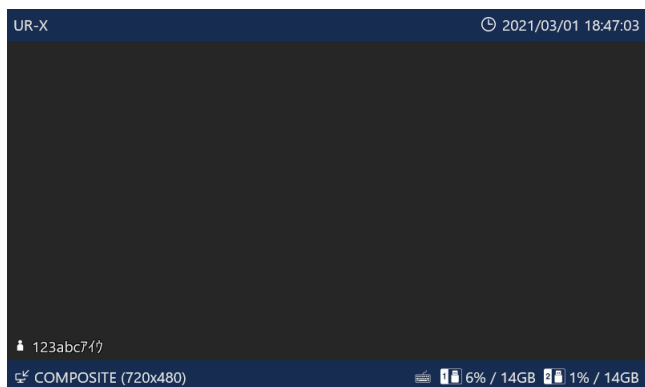


6 入力後 をタップして、入力情報を確定させる。



- IDが入力されていない状態で画像の記録動作を行うと、仮IDとして「\$年月日時分秒」のIDが自動で登録されます。

例) 2019年01月23日14時15分40秒の場合
\$20190123141540




入力したIDをクリアする場合は、STOPボタンを長押しします。

注意


- 入力された患者情報は内蔵HDDに記録されます。
- 本製品の移転・廃棄にあたり患者情報を正しく処理してください。
- 患者情報を消去する際は、52ページの「初期化」に記載の「内蔵HDD初期化」または「完全初期化」を行ってください。

患者情報リストの問い合わせ

患者情報リストを受信する場合に、患者情報入力画面の

 をタップします。
別途専用サーバが必要です。詳細はお問合せ下さい。

静止画を記録する


「PHOTO」ボタンを押す、またはLCDの  をタップするたびに同じIDで連番が異なる画像が記録できます。一度記録動作を行うと、記録が終了しても入力した患者情報を維持して記録スタンバイ状態を保持します。連番は1から始まり5000までです。5000枚以上記録出来ません。さらに5000枚以上記録する場合や異なるIDで記録したいときはLCDをタップしてコント

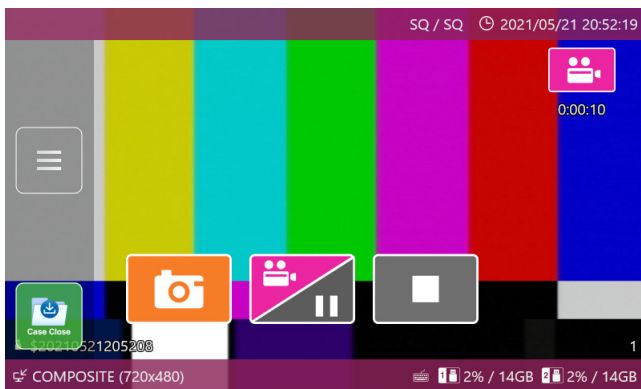
ロールバーを表示させ  をタップし、一度IDLE状態に戻り、IDを入力してください。



また、動画記録中でも「PHOTO」ボタンを押す、またはLCDの  をタップすると静止画を記録できます。

- 「外部トリガ」設定で外部接点に「静止画記録」を割り当てると、外部接点により静止画を記録することができます。(43ページ)

動画を記録する

「VIDEO/PAUSE」ボタン、または LCD の  をタップすると動画の記録を開始します。




動画記録中に「STOP」ボタンを押す、または LCD の  をタップすると動画の記録が停止します。動画記録中に「VIDEO/PAUSE」ボタンを押す、または LCD の  をタップすると動画の記録を一時停止します。


- 本装置の動画記録は、内蔵 HDD 一時保管容量を効率良く確保する為、「動画記録領域確保」設定があります。ご使用の用途に応じて、設定してください。(48 ページ)
- 「外部トリガ」で外部接点に「動画記録開始 / 一時停止」を割り当てると、そのトリガにより制御できます。(43 ページ)

⚠ 2 秒未満で記録を停止しても動画は 2 秒間記録されます。

参考

- 同一 ID で記録できるのは 5000 ファイルまでです。さらに記録する場合や異なる ID で記録したいときは  をタップして、一度 IDLE 状態に戻り、ID を入力してください。
- 内蔵 HDD 内の画像について
内蔵 HDD 内は複数パーティションに分けて使われます。古いパーティションから順に消され、上書きされます。必要な画像を保存しておくには USB メディアをご使用下さい。


記録スタンバイを終了する

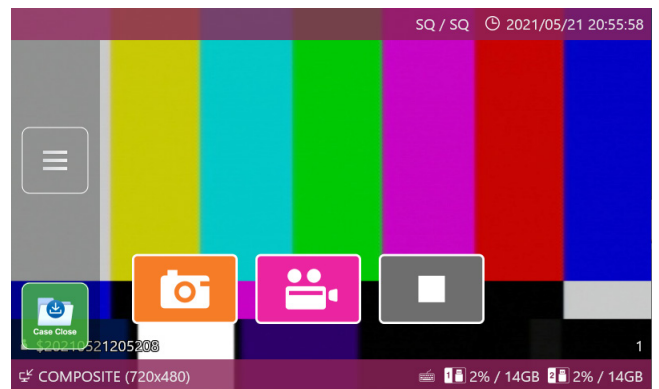
LCD をタップしてコントロールバーを表示させ  をタップするか「STOP」ボタンを長押しすると記録スタンバイが終了し、IDLE 状態になります。この時点で設定した患者情報はクリアされます。

- 動画記録中に上記操作を行った場合、動画記録を停止して記録スタンバイを終了します。

直前に撮った画像を見る

記録スタンバイ中に、直前にとった画像（同一 ID 内）を確認することができます。

- 1 記録スタンバイ中に LCD をタップして、コントロールバーを表示させ  をタップする。



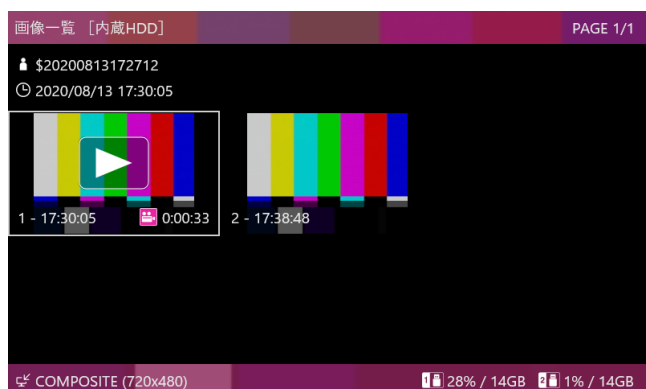
メニューが表示されます。

- 2 「画像プレビュー」をタップする。

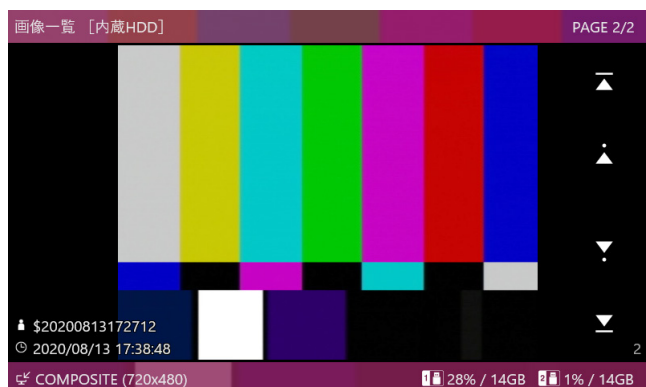


「画像一覧」画面が表示されます。画像は記録した順番に古いものから表示されます。

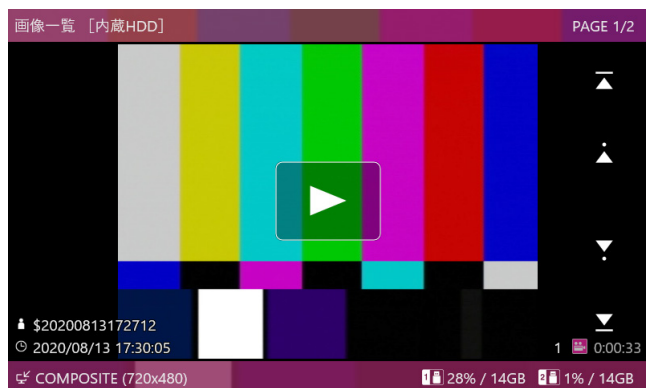
3 画像一覧より確認したい画像をタップする。




静止画の画像




動画の画像



- 動画の画像には、中央に「▶」マークが付き、右下に動画記録時間が表示されます。

「画像一覧」画面でLCDをタップして、 をタップすると記録スタンバイ状態に戻り、記録可能状態になります。

記録スタンバイ中に映像入力を切り換える

- 1 記録スタンバイ中にLCDをタップして、コントロールバーを表示させ  をタップする。

メニューが表示されます。



- 2 「映像入力選択」をタップする。

- 3 希望の映像入力をタップする。

映像入力の詳細については、25ページの「入力信号の選択」を参照してください。

注意

- 記録スタンバイ中に切り換えられるのは、同じ解像度の入力のみです。
- 動画の記録中は映像信号の切り換えはできません。

記録画像の削除について

- 画像データ / 記録データを個別に削除することはできません。
- 一括削除はフォーマット機能をご使用下さい。

再生する

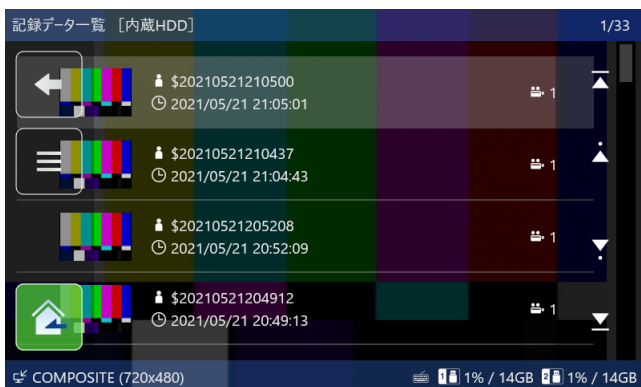
IDLE 状態から「PLAY/PAUSE」ボタンを押す、またはメインメニューの「画像参照」をタップすると、下記メニューが表示されます。



再生したいデバイスを選んでタップすると、デバイス内にある「記録データ一覧」画面が表示されます。

記録データ一覧

記録データの一覧が最新順に表示されます。



記録データの先頭画像のサムネイルが左側に表示されます。

「▲」、「▼」をタップすると表示しきれない記録データを順送りできます。

1 見たい記録データをタップして「画像一覧」画面を表示する。

画像は記録した順番の新しいものから表示されます。

2 画像一覧より確認したい画像をタップする。



静止画の画像



動画の画像




- 動画の画像には、中央に「▶」マークが付き、右下に動画記録時間が表示されます。
- 「▲」、「▼」をタップすると表示しきれない画像を順送りできます。

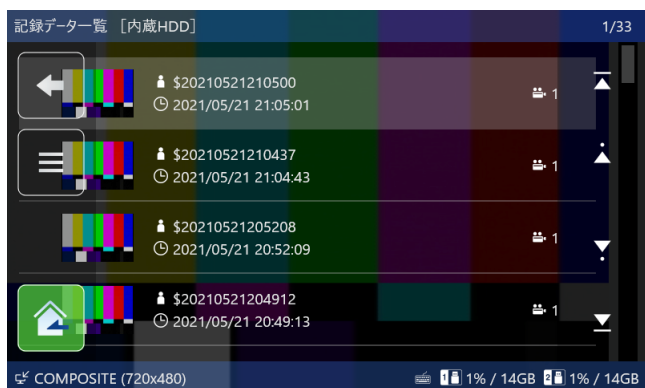
ID 検索

患者 ID を指定して記録した画像を表示します。

- 1 メインメニューの「画像参照」をタップする。
- 2 再生デバイスより検索したいデバイスを選択する。



- 3 記録データ一覧にてコントロールバーの  をタップする。

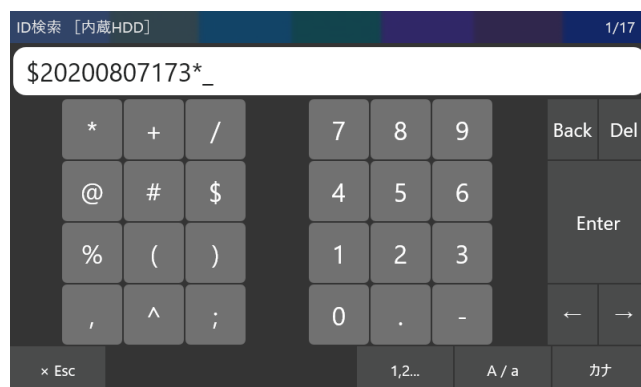


- 4 「ID 検索」をタップする。



- 5 検索したい ID を入力し、「Enter」をタップする。

ID 検索欄に入力された文字が検索されます。



- 先頭に「*」を付けると後方一致検索を行います。
- 最後に「*」を付けると前方一致検索を行います。
- 「*」がない場合は完全一致検索を行います。

- 6 再生表示したい記録データをタップする。




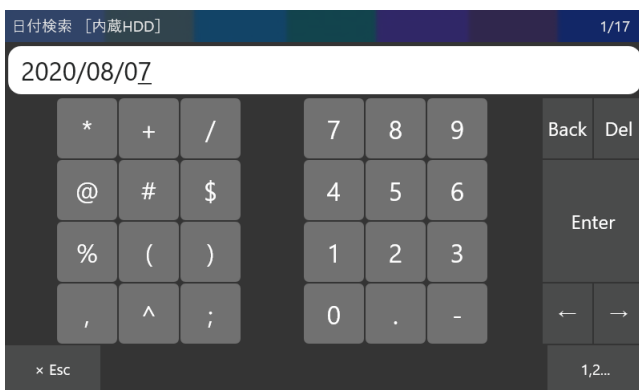
「画像一覧」画面が表示されます。画像は記録した順番の新しいものから表示されます。

- 7 画像一覧より確認したい画像をタップする。

日付検索

記録した日付を指定して記録した画像を表示します。

- 1 メインメニューの「画像参照」をタップする。
- 2 再生デバイスより検索したいデバイスを選択する。
- 3 記録データ一覧にてコントロールバーの  をタップする。
- 4 「日付検索」をタップする。
- 5 日付検索の項目をタップして、検索したい日付を入力し、「Enter」をタップする。



- 6 再生表示したい記録データをタップする。

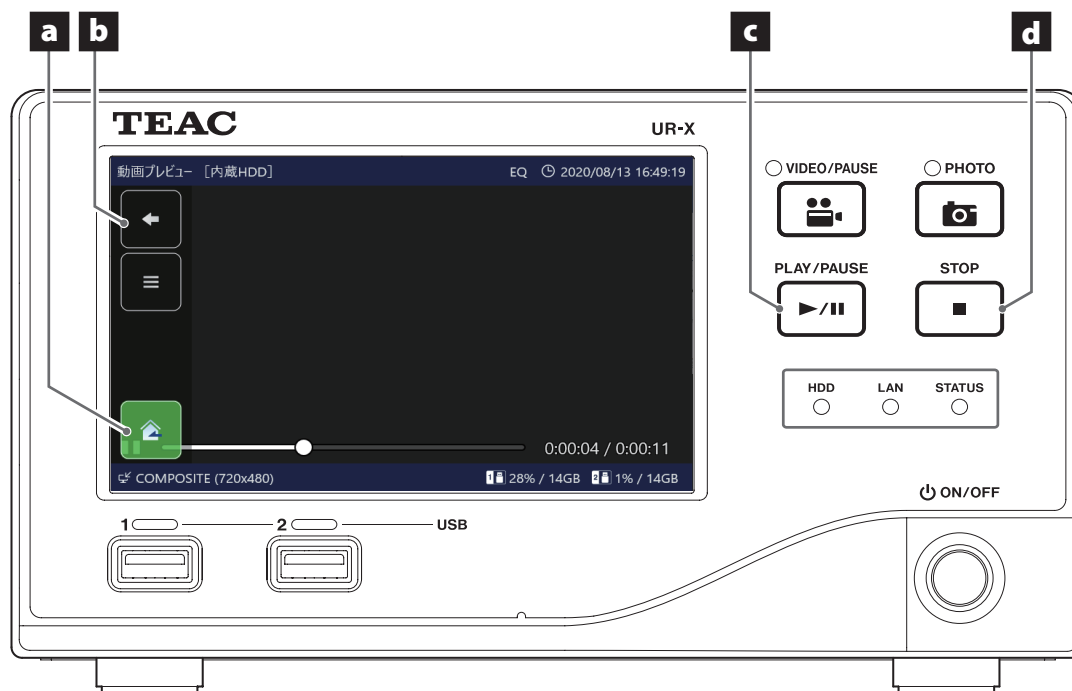


「画像一覧」画面が表示されます。画像は記録した順番の新しいものから表示されます。


- 7 画像一覧より確認したい画像をタップする。

動画再生中の操作


下記の前面ボタン、LCD のアイコンを使用して再生操作を行います。



a (LCD のアイコン)

動画再生中に LCD をタップしコントロールバーを表示させ  をタップすると IDLE 状態に戻ります。

b (LCD のアイコン)

動画再生中に LCD をタップしコントロールバーを表示させ  をタップすると画像一覧に戻ります。タップするごとに 1 つ前の画面に戻ります。

c PLAY/PAUSE ボタン


動画再生中に押すと一時停止します。
一時停止中に押すと一時同停止した位置から続きの動画を再生します。

d STOP ボタン

動画再生中に押すと再生中の動画の始めに戻って停止します。
一時停止中に押すと再生中の動画の最初に戻って停止を続けます。

患者情報を変更する

未設定の ID や患者名などの患者情報を変更することができます。

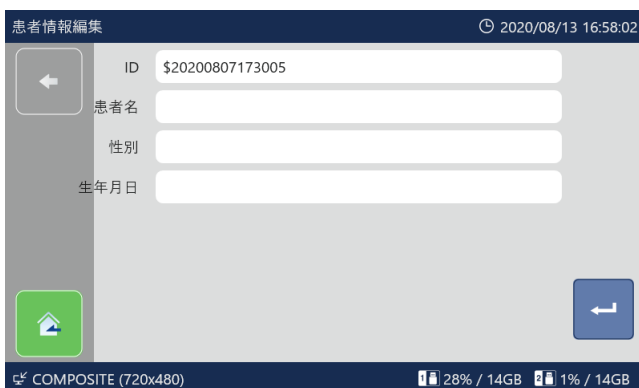
- 1 「画像一覧」画面で変更したい画像をタップして選択し、コントロールバーを表示させ  をタップする。(30 ページ)



メニューが表示されます。



- 2 「患者情報編集」をタップする。



患者情報編集画面が表示されます。

- 3 患者情報を編集する。


変更したい情報欄をタップして内容を変更します。入力手順は 26 ページの「患者情報設定」に従います。

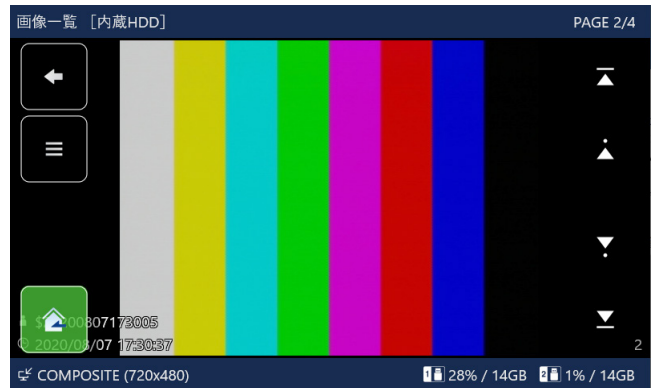
ネットワーク転送

記録データは、45 ページの「画像サーバ 1」設定により、ネットワーク転送することができます。

SEARGONE 転送には Windows ソフトウェア「Sergeone V2」が必要です。

画像を転送 / コピーする

- 1 「画像一覧」画面で操作したい画像をタップして画像を選択し、コントロールバーを表示させ  をタップする。(30 ページ)




メニューが表示されます。



- 2 「USB1 に書き出し」「USB2 に書き出し」「画像サーバ 1 に転送」のいずれかをタップする。

画像の転送 / コピーが実行されます。

終了すると、「画像一覧」に戻ります。

-  をタップするとひとつ前の画面に戻ります。

注意

- 設定にて「USB 書き出し禁止」を ON とした場合、「USB1 に書き出し」「USB 2 に書き出し」は表示されません。
- 画像サーバ 1 の設定を行わない場合、「画像サーバ 1 に転送」は表示されません。

設定操作

- 1 電源投入後、IDLE 状態で LCD をタップしてメインメニューを表示する。





- 2 「設定」、「患者情報」、「詳細」、「ネットワーク」、「メンテナンス」または「セキュリティ」をタップする。

モニター、LCD に設定項目が表示されます。



- 3 設定したい項目をタップする。

4 設定・選択項目の設定値をタップまたは数字を入力する。

設定を変更せずに前の画面または IDLE 画面に戻るには、 または  をタップします。

例：静止画記録画質の選択



5 設定後に をタップして IDLE 画面に戻る。

現在の設定を表示

メインメニューから「設定」をタップし「システム」→「現在の設定を表示」をタップすると、主要な設定の設定状況を表示します。

表示する項目は以下の通りです。

- OSD 表示
- 動画記録アイコン表示
- 本体ブザー音量
- 静止画記録画質
- OSD 埋め込み
- サムネイル表示
- 動画記録画質
- 映像入力選択
- アナログオーディオレベル
- 内蔵ハードディスク空き容量
- 動画記録領域確保

内蔵ハードディスク空き容量については、分割されているパーティションの容量を表示しますので、表示される最大容量は約 300GB です。

設定項目一覧

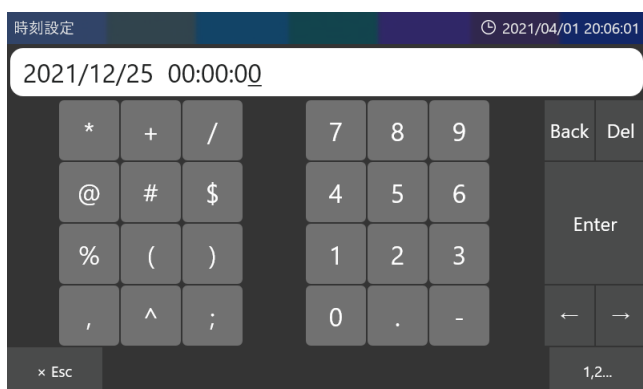
設定	39	CIFS サーバ 1 ユーザー名 /	
システム	39	FTP サーバ 1 ユーザー名	45
時刻設定	39	CIFS サーバ 1 パスワード /	
言語設定	39	FTP サーバ 1 パスワード	45
表示	39	画像サーバ 1 転送	45
電源投入後 OSD 表示	39	画像サーバ 1 IP アドレス	45
OSD 患者情報	39	画像サーバ 1 ポート	45
文字サイズ	39	本機制御ポート	46
上下左右余白	39	制御サーバ IP アドレス	46
表示項目	39	制御サーバポート	46
表示位置カスタマイズ	40	NTP サーバ IP アドレス	46
表示位置カスタマイズ有効	40	接続タイムアウト	46
項目の個別カスタマイズ	40	通信タイムアウト	46
水平位置	40	患者情報設定	47
垂直位置	40	患者情報	47
水平配置	40	ID 桁揃え	47
入力デバイス	40	受付番号桁揃え	47
キーボードテンキー操作	40	入力画面表示項目	47
本体ブザー音量	40	入力画面初期フォーカス	47
静止画記録	41	詳細	48
静止画記録画質	41	動画記録領域確保	48
OSD 埋め込み	41	残り容量警告	48
サムネイル	41	カード / バーコード	49
記録時サムネイル表示	41	ID 読み取り範囲	49
サムネイル位置	41	患者名読み取り範囲	49
サムネイル表示時間	41	性別読み取り範囲	49
トリミング	41	生年月日読み取り範囲	49
動画記録	42	患者コメント読み取り範囲	49
動画記録画質	42	受付番号読み取り範囲	49
アナログオーディオレベル	42	部位読み取り範囲	49
簡易映像入力切替	42	ID から英数字以外を削除	49
簡易映像入力切替有効	42	色空間	50
映像入力 1 割り当て	42	DVI 色空間	50
映像入力 2 割り当て	42	SDI 色空間	50
アイコン表示	42	メンテナンス	51
アイコン位置	42	システムアップデート	51
外部トリガ	43	ログファイル書き出し	51
TRIGGER1 (L)	43	ログファイル書き出し期間	51
TRIGGER1 (R)	43	設定書き出し	51
TRIGGER2 (L)	43	設定読み込み	51
TRIGGER2 (R)	43	USB メディアフォーマット	52
ネットワーク	44	メッセージ履歴	52
本機ネットワーク設定	44	初期化	52
DHCP	44	設定初期化	52
本機 IP アドレス	44	内蔵 HDD 初期化	52
サブネットマスク	44	完全初期化	52
デフォルトゲートウェイ	44	ライセンス	52
機器名称	44	セキュリティ	53
画像サーバ種別	45	パスワード機能	53
画像サーバ 1	45	パスワード	53
CIFS サーバ 1 転送 / FTP サーバ 1 転送	45	USB 書き出し禁止	53
CIFS サーバ 1 共有名 / FTP サーバ 1 共有名	45	HTML に患者情報を付加	53

システム

「設定」をタップし、「システム」をタップして設定画面を表示します。

時刻設定

「時刻設定」をタップして内蔵の時計を設定します。
数値入力画面が表示されます。



カーソルを移動しながら数値を変更し、「Enter」をタップすると時刻が設定されます。

- 本製品には内蔵時計を動かすための電池が内蔵されています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約5年です。電池が切れると正しい時刻が表示されません。電池の交換は、裏表紙に記載されている当社サービス部門にご用命ください。

言語設定

「言語 / Language」をタップして言語選択を行います。
初期値は「日本語」です。

日本語
English(US)
English(GB)
Deutsche
Français
Italiano
Español
中文
한국

表示

電源投入後 OSD 表示

本製品の起動時の OSD (ID / 名前 / 性別 / 生年月日 / 部位) の表示について設定します。

「電源投入後 OSD 表示」をタップして設定を行います。
初期値は「ON」です。

OFF : OSD を表示しない
ON : OSD を表示する

OSD 患者情報

OSD 表示をカスタマイズをすることができます。

文字サイズ


文字サイズを設定します。
初期値は「Medium」です。

小 : 小さい文字で表示する
中 : 中くらいの文字で表示する
大 : 大きい文字で表示する

上下左右余白

画面全体に対する OSD 表示部分の余白 (表示しないエリア) を設定します。

「上下左右余白」をタップして設定を行います。
初期値は上下左右各「1%」です。

- 表示位置カスタマイズが「OFF」の時に有効になります。
- 0% ~ 80% まで設定できます。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

表示項目

OSD として表示する項目を設定します。
「表示項目」をタップして設定を行います。
次の項目について設定できます。

ID、患者名、性別、生年月日、年齢、患者コメント、
日時、受付番号、部位、医師名、記録数、動画長さ

初期値は「ON」です。

OFF : 項目を表示しない
ON : 項目を表示する

設定

表示位置カスタマイズ

OSD として表示する項目の表示位置をカスタマイズすることができます。

「表示位置カスタマイズ」をタップして設定を行います。

表示位置カスタマイズ有効

表示位置を個別に設定することができます。

「表示位置カスタマイズ有効」をタップして設定を行います。

初期値は「OFF」です。

OFF：表示位置をカスタマイズしない

ON：表示位置をカスタマイズする


項目の個別カスタマイズ

以下の項目をカスタマイズ表示することができます。

項目	初期値		
	水平位置	垂直表示	水平配置
ID	5%	85%	左寄せ
患者名	5%	89%	左寄せ
性別	25%	85%	右寄せ
生年月日	10%	85%	右寄せ
年齢	5%	85%	右寄せ
患者コメント	20%	85%	左寄せ
日時	5%	2%	左寄せ
受付番号	5%	81%	左寄せ
部位	5%	93%	左寄せ
医師名	20%	93%	左寄せ
記録数	5%	93%	右寄せ
動画長さ	5%	89%	右寄せ


水平位置

画面に対する横の表示位置を % で指定します。

- 0% ~ 95% まで指定できます。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

垂直位置

画面に対する縦の表示位置を % で指定します。

- 0% ~ 95% まで指定できます。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

水平配置

項目の表示開始位置を設定します。

左寄せ：画面の左端を開始位置に設定する

右寄せ：画面の右端を開始位置に設定する

入力デバイス

背面 USB ポートに接続する文字入力デバイスを設定します。

「入力デバイス」をタップして設定を行います。

初期値は「キーボード」です。

キーボード：入力デバイスとしてキーボードを設定する

磁気カード/バーコード：入力デバイスとして磁気カードリーダーまたはバーコードリーダーを設定する

キーボードテンキー操作

USB ポートに接続したキーボードのテンキーに操作機能を割り当ててリモコンの様に操作できます。詳細はお問合わせ下さい。

初期値は「OFF」です。

OFF：キーボードテンキー操作無効

ON：キーボードテンキー操作有効

本体ブザー音量

「本体ブザー音量」をタップして本体内蔵ブザーの音量を設定します。

初期値は「小」です。

OFF：鳴らさない

小：小さい音量

中：中ぐらいの音量

大：大きい音量

静止画記録

「設定」をタップした後「静止画記録」をタップして設定画面を表示します。

静止画記録画質

静止画の画質を設定します。

「静止画記録画質」をタップして設定を行います。

初期値は「SQ」です。

EQ : 高圧縮 (容量節約画質)

SQ : 標準画質

HQ : 高画質

TIFF : 非圧縮

OSD 埋め込み

静止画記録時に画像に OSD 情報を埋め込みます。

初期値は「OFF」です。

- OSD 表示項目については 39 ページの「表示項目」を参照してください。

OFF : OSD を埋め込まない

ON : OSD を埋め込む

サムネイル

記録時サムネイル表示

静止画記録時のアイコン表示を設定します。

「記録時サムネイル表示」をタップして設定を行います。

初期値は「アイコン」です。

OFF : サムネイル表示を行わない

アイコン : PHOTO アイコンを表示する

小 : 記録画像を小さいサイズで表示する

中 : 記録画像を中くらいのサイズで表示する

大 : 記録画像を大きいサイズで表示する

サムネイル位置

サムネイルの表示位置を設定します。

初期値は「右上」です。

左上 : 画面の左上に表示する

右上 : 画面の右上に表示する

左下 : 画面の左下に表示する


右下 : 画面の右下に表示する

サムネイル表示時間

サムネイルの表示時間を設定します。

「サムネイル表示時間」をタップして設定を行います。

初期値は「1 秒」です。

- 最大 10 秒まで設定できます。
- 表示時間入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

トリミング

静止画記録時に画像の自動切り出しを行います。

「トリミング」(Cropping) をタップして設定します。

初期値は「0,0,0,0」です。

- 設定よりも解像度が小さい場合は解像度に合わせます。

左位置 : 横方向の切り出し開始位置を指定します。

上位置 : 縦方向の切り出し開始位置を指定します。

幅 : 切り出す幅を指定します。

高さ : 切り出す高さを指定します。

- トリミング位置入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

動画記録

「設定」をタップし、「動画記録」をタップして設定画面を表示します。

動画記録画質

動画の画質を設定します。

「動画記録画質」をタップして設定を行います。

初期値は「SQ」です。

EQ : 高圧縮 (容量節約画質)

SQ : 標準画質

HQ : 高画質

XQ : 最高画質

アナログオーディオレベル

AUDIO IN 端子からの音声レベルを設定します。

「アナログオーディオレベル」をタップして設定を行います。

初期値は「ライン」です。

ライン : ライン用の入力です。(オーディオ装置の出力など)

マイク : マイク用の入力です。約 +20dB 増幅します。
コンデンサーマイクを使用してください。

簡易映像入力切替

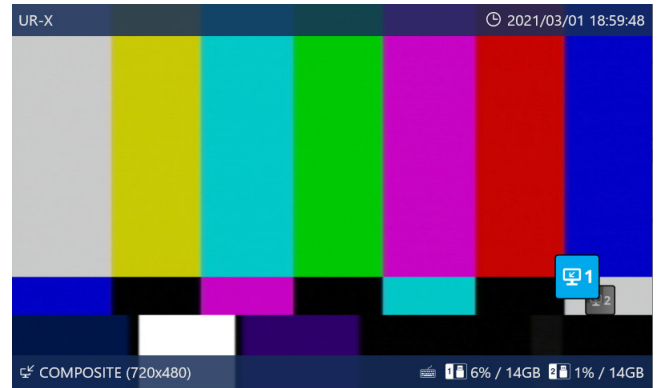
簡易映像入力切替有効

アイドル状態で LCD 右下に表示されるアイコンを操作して 2 つの入力を順次切り替えることが可能です。

初期値は「OFF」です。

OFF : 簡易映像入力切替無効

ON : 簡易映像入力切替有効



映像入力 1 割り当て

簡易映像入力切替を有効にした場合に、映像入力 1 に割り当てる入力先を設定します。

初期値は「SDI」です。

映像入力 2 割り当て

簡易映像入力切替を有効にした場合に、映像入力 2 に割り当てる入力先を設定します。

初期値は「S-VIDEO」です。

アイコン表示

動画記録時のアイコン表示を設定します。

「アイコン表示」をタップして設定を行います。

初期値は「ON」です。

OFF : アイコンを表示しない

ON : アイコンを表示する

アイコン位置

アイコンの表示位置を設定します。

「アイコン位置」をタップして設定します。

初期値は「右上」です。

左上 : 画面の左上に表示する

右上 : 画面の右上に表示する

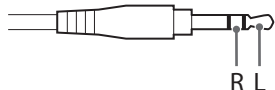
左下 : 画面の左下に表示する

右下 : 画面の右下に表示する

外部トリガ

外部接点スイッチ等を使う場合に設定します。

- 外部トリガ用ジャックはステレオミニジャックで、外部接点スイッチ等を接続します。



- TRIGGER1 は端子が2つあり、内部で Wired-OR 接続されています。片方を入力、もう片方をスルー出力として使用します。

注意

- モノラルプラグを使用した場合、R 側の設定は OFF にしてください。
- 外部トリガ信号が 1 系統の時は、L/R の使用する接点のみ設定してください。(使用しない接点側は OFF にしてください)
- 同一端子で L/R 両方の設定をした場合、L/R どちらかの端子が常に GND に接続されていると正常に動作しません。

TRIGGER1 (L)

TRIGGER1 の Lch 信号端子の動作を設定します。

初期値は「OFF」です。

- OFF : 機能なし。
- 静止画記録 : トリガエッジ入力ごとに静止画を 1 枚記録する。
- 静止画記録 (マーク): トリガエッジ入力ごとに静止画を 1 枚記録する。(画像一覧と再生時にマークが表示されます。)
- 動画記録開始 / 一時停止 : 動画の記録開始、記録一時停止を順番に行う (一時停止中は開始、記録中は一時停止)
- 動画記録停止 : トリガエッジ入力で動画記録を停止、自動保存する。
- 動画記録維持 (一時停止) : L レベル (1.4v 以下) の間、動画を記録します。動画記録後は Pause 状態となります。
- 動画記録維持 (停止): L レベル (1.4v 以下) の間、動画を記録します。動画記録後は STOP 状態となります。

動画記録開始 / 停止:

動画の記録開始、記録停止を順番に行う (停止中は開始、記録中は停止)

TRIGGER1 (R)

TRIGGER1 の Rch 信号端子の動作を設定します。

初期値は「OFF」です。

TRIGGER2 (L)

TRIGGER2 の Lch 信号端子の動作を設定します。

初期値は「OFF」です。

TRIGGER2 (R)

TRIGGER2 の Rch 信号端子の動作を設定します。

この設定のみ「記録中出力」項目が追加されます。

初期値は「OFF」です。

記録中出力 : 外部に LED を接続することにより、記録中に LED を点灯させる事ができます。

ネットワーク

本機ネットワーク設定

ネットワーク設定は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。

「ネットワーク」をタップした後「本機ネットワーク設定」をタップして設定します。

注意

この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

- ネットワークの設定、接続については接続するネットワーク管理者の指示に従ってください。

DHCP

本製品の IP アドレスを手動で設定するか自動取得にするかの設定をします。

初期値は「OFF」です。

OFF: IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目を設定し固定でネットワークアドレスを割り当てます。

ON : 自動でネットワークアドレスを取得します。DHCP サーバが必要になります。この設定にして自動取得が成功すると、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイの各設定に取得した値が表示されます。取得に失敗した場合、各項目が「0.0.0.0」表示になります。

本機 IP アドレス

本製品の IP アドレスを入力します。

初期値は「192.168.0.101」です。

DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

- IP アドレス入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを入力します。

初期値は「255.255.255.0」です。

DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

- サブネットマスク入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

デフォルトゲートウェイ

本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。

初期値は「0.0.0.0」です。


DHCP 設定が ON の場合は入力できません。

- デフォルトゲートウェイ入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

機器名称

ネットワーク転送で使われる本製品の名前を設定します。

初期値は「MV0001」です。

- 機器名称入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

画像サーバ種別

画像サーバの種別を設定します。
初期値は「CIFS」です。



画像サーバ 1

「ネットワーク」をタップした後「画像サーバ 1」をタップして設定します。

前項の「画像サーバ種別」で「CIFS」または「FTP」を選択した場合は、以下の設定項目が表示されます。

CIFS サーバ 1 転送 / FTP サーバ 1 転送

サーバ 1 への自動転送について設定します。

- 内蔵 HDD のデータをネットワーク転送します。
- 本機能設定後に収録した記録データが転送の対象になります。

自動転送を行わない時に記録データを転送したい場合は、手動転送してください。

初期値は「自動転送しない」です。

自動転送しない

静止画と動画: 静止画と動画を転送する

静止画のみ : 静止画のみ転送する

動画のみ : 動画のみ転送する

CIFS サーバ 1 共有名 / FTP サーバ 1 共有名

サーバ 1 の共有名を設定します。

「Enter」で決定後、自動的に先頭には「¥¥」が付加されます。

CIFS サーバ 1 ユーザー名 / FTP サーバ 1 ユーザー名

サーバ 1 のユーザー名を設定します。

CIFS サーバ 1 パスワード / FTP サーバ 1 パスワード

サーバ 1 のパスワードを設定します。

前項の「画像サーバ種別」で「SERGEONE」を設定した場合は、以下の設定内容が表示されます。

画像サーバ 1 転送

画像サーバ 1 への自動転送について設定します。

- 内蔵 HDD のデータをネットワーク転送します。
- 本機能設定後に収録した記録データが転送の対象になります。

自動転送を行わない時に記録データを転送したい場合は、手動転送してください。

初期値は「自動転送しない」です。

自動転送しない

静止画と動画 : 静止画と動画を転送する

静止画のみ : 静止画のみ転送する

動画のみ : 動画のみ転送する

画像サーバ 1 IP アドレス

画像サーバ 1 の IP アドレスを入力します。

「ネットワーク」をタップした後「画像サーバ 1 IP アドレス」をタップして設定します。

初期値は「192.168.0.151」です。

- IP アドレス入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

画像サーバ 1 ポート

画像サーバ 1 のポート番号を入力します。

初期値は「10050」です。

- ポート番号入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

注意

画像サーバ種別の設定を変更すると再起動します。

本機制御ポート

本製品を LAN 制御する為のポート番号を入力します。「ネットワーク」をタップした後「本機制御ポート」をタップして設定します。

初期値は「10050」です。

制御サーバ IP アドレス

制御サーバの IP アドレスを入力します。「ネットワーク」をタップした後「制御サーバ IP アドレス」をタップして設定します。

初期値は「192.168.0.151」です。

- IP アドレス入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

制御サーバポート

制御サーバのポート番号を入力します。「ネットワーク」をタップした後「制御サーバポート」をタップして設定します。


初期値は「10051」です。

- ポート番号入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

NTP サーバ IP アドレス

NTP サーバの IP アドレスを入力します。「ネットワーク」をタップした後「NTP サーバ IP アドレス」をタップして設定します。

初期値は「0.0.0.0」です。

- IP アドレス入力後、 をタップすると入力値が反映されます。
- 「0.0.0.0」場合は NTP による時刻合わせを行いません。

接続タイムアウト

各サーバへの接続タイムアウトを設定します。「ネットワーク」をタップした後「接続タイムアウト」をタップして設定します。

初期値は「10 秒」です。

- タイムアウト時間入力後、 をタップすると入力値が反映されます。
- 1 秒から 60 秒まで設定できます。

通信タイムアウト

各サーバへの通信タイムアウトを設定します。「ネットワーク」をタップした後「通信タイムアウト」をタップして設定します。

初期値は「10 秒」です。

- タイムアウト時間入力後、 をタップすると入力値が反映されます。
- 1 秒から 60 秒まで設定できます。

患者情報


メインメニューの「患者情報」をタップした後サブメニューの「患者情報」をタップします。

ID 桁揃え

入力された ID の桁数を合わせる機能を設定します。
初期値は「0」で桁揃えを行いません。

桁指定を行い指定桁に満たない場合、指定桁まで上位桁側に0を付加します。
指定桁以上の ID が入力された場合は、桁揃えを行いません。

例) 10 を設定した場合
ID 入力 12345 → 0000012345


- 桁入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

受付番号桁揃え

入力された受付番号の桁数を合わせる機能を設定します。
初期値は「0」で桁揃えを行いません。

桁指定を行い指定桁に満たない場合、指定桁まで上位桁側に0を付加します。
指定桁以上の ID が入力された場合は、桁揃えを行いません。

例) 10 を設定した場合
ID 入力 12345 → 0000012345

- 桁入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

入力画面表示項目

患者情報入力画面 (26 ページ) で表示する項目について設定します。

「入力画面表示項目」をタップした後、各項目をタップして設定します。

- OFF : 表示しない
- ON : 表示する

各項目の初期値は以下の通りです。

項目	初期値
ID	ON
患者名	ON
性別	ON
生年月日	ON
患者コメント	OFF
受付番号	OFF
部位	OFF
医師名	OFF

入力画面初期フォーカス

患者情報入力画面 (26 ページ) を表示した時のフォーカス位置を指定します。

初期値は「最上段」です。

- 最上段 : 最上段に設定する
- ID : ID に設定する
- 患者名 : 患者名に設定する
- 性別 : 性別に設定する
- 生年月日 : 生年月日に設定する
- 患者コメント : 患者コメントに設定する
- 受付番号 : 受付番号に設定する
- 部位 : 部位に設定する
- 医師名 : 医師名に設定する

動画記録領域確保

内蔵 HDD に 1 度に記録する時間容量 (目安) を確保する設定です。

指定時間で停止する機能ではありません。

また、内蔵 HDD を効率よく使用するためには、なるべく短い時間を指定してください。

「詳細」をタップした後「動画記録領域確保」をタップして設定を行います。

初期値は「5 時間」です。

1 時間単位で指定します。

動画記録時間が設定した時間を超えても可能な限り記録を継続しますが、以下の状態になると動画記録は自動停止します。

- 動画記録時間が 24 時間になる
- 内蔵 HDD の空き容量がなくなる

注意

動画記録停止時に次の動画記録用に容量を確保します。その時の内部状態により「ハードディスク準備中」と表示される事があります。数秒お待ち下さい。

残り容量警告

「詳細」をタップした後「残り容量警告」をタップして容量警告 (使用量) の設定を行います。

USB メディアの使用量が設定した容量以上になると、ブザーとメッセージで警告を出す事ができます。

容量警告 (使用量) を % で指定します。

0 を指定すると、警告無しになります。

初期値は「95%」です。

注意

- USB1 及び USB2 ポートに接続した USB メディアには、常に記録した画像が自動コピーされます。USB メディアには、十分な空き容量がある事を確認して下さい。
- 動画は一定間隔で区切ってコピーします。動画記録中に空き容量が無くなった場合は、その前までのデータがコピーされます。この動画はコピーが完了されていませんので、新メディアが接続されたら、動画の最初から再度コピーを実施します。

カード / バーコード

患者情報の入力にカードリーダー、バーコードリーダーを使用できます。

磁気カード、バーコードから読み取ったデータの文字範囲を設定します。

「詳細」をタップした後「カード / バーコード」をタップして設定します。


- 各設定画面でカード・バーコードを通すと読み取ったデータを表示します。

ID 読み取り範囲

ID として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「ID 読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

患者名読み取り範囲

患者名として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「患者名読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

性別読み取り範囲

性別として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「性別読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 「0」にすると性別は読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

生年月日読み取り範囲

生年月日として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「生年月日読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

患者コメント読み取り範囲

患者コメントとして読み取る開始位置と文字数を入力します。

「患者コメント読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

受付番号読み取り範囲

受付番号として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「受付番号読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。


- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

部位読み取り範囲

部位として読み取る開始位置と文字数を入力します。

「部位読み取り範囲」をタップして設定を行います。

初期値は 開始位置「0」、文字数「0」です。

- 文字数は 32 文字まで指定できます。
- 文字数を「0」にすると読み取りません。
- 数値入力後、 をタップすると入力値が反映されます。

ID から英数字以外を削除

読み取った ID に英数字以外の文字や記号が記入されている場合、英数字以外を削除します。

初期値は「OFF」です。

OFF : ID から英数字以外を削除しない

ON : ID から英数字以外を削除する

色空間

DVI 色空間

DVI の表示色を変更する場合に設定します。
初期値は「0-255 (標準)」です。

0-255 (標準): 色空間の範囲を 0-255 で表示
16-255 : 色空間の範囲を 16-255 で表示

SDI 色空間

SDI の表示色を変更する場合に設定します。
初期値は「16-235 (標準)」です。

16-235 (標準): 色空間の範囲を 16-235 で表示
16-255 : 色空間の範囲を 16-255 で表示

システムアップデート

本製品に搭載している FW のアップデートを行います。

- 1** 本製品でフォーマットした USB メディアに FW アップデートファイルをコピーする。
- 2** USB メディアを接続する。
- 3** 「システムアップデート」をタップする。
- 4** アップデートするバージョンをタップする。
アップデートが行われます。
 - アップデート中は本製品の電源を OFF にしないでください。
 - アップデートが終了すると、自動的に再起動します。

ログファイル書き出し

本製品のログファイルを USB メディアに書き出します。

- キャンセル：何もせずに 1 つ前の画面に戻ります。
- USB1 : USB1 メディアにログファイルを書き出します。
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。
- USB2 : USB2 メディアにログファイルを書き出します。
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。
- 既書き出したログファイルが USB メディア内にある場合、上書き保存されます。

ログファイル書き出し期間

ログファイルを書き出す期間を設定します。
「メンテナンス」をタップした後「ログファイル書き出し期間」をタップして設定します。
初期値は「1 ヶ月」です。

- 本日 : 当日のログファイル
1 週間 : 1 週間前までのログファイル
1 ヶ月 : 1 ヶ月前までのログファイル
1 年 : 1 年前までのログファイル
全て : すべてのログファイル

設定書き出し

本機の設定を USB メディアに書き出します。
「設定読み込み」機能を使用して、別の装置に反映させることができます。

- キャンセル：何もしません。
- USB1 : USB1 メディアに設定を書き出します。
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。
- USB2 : USB2 メディアに設定を書き出します。
書き出しが終了すると一つ前の画面に戻ります。

設定読み込み

本機の設定を USB メディアから読み込みます。

- キャンセル：何もしません。
- USB1 : USB1 メディアから設定を読み込みます。
設定の読み込みが終了すると自動で再起動します。
- USB2 : USB2 メディアから設定を読み込みます。
設定の読み込みが終了すると自動で再起動します。

USB メディアフォーマット

本製品に接続されている USB メディアをフォーマット (初期化) します。

USB1 フォーマット : USB1 メディアをフォーマットします。

USB2 フォーマット : USB2 メディアをフォーマットします。

希望の USB メディアをタップ後、「実行」をタップするとフォーマットが行われます。フォーマットを行わない場合は「キャンセル」をタップしてください。

メッセージ履歴

「メッセージ履歴」をタップすると本製品に表示された最新 30 個の警告を表示します。

例)

 2019/10/1 11:50:01

映像入力がありません

 2019/9/30 18:32:54

USB#1 にメディアがありません

初期化

本製品の初期化を行います。

設定初期化

本製品の設定を初期化します。

「設定初期化」をタップして設定を行います。

キャンセル : 何もせずに 1 つ前の画面に戻ります。

実行 : 設定の初期化を行います。

- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

内蔵 HDD 初期化

本製品の内蔵 HDD を初期化します。

「内蔵 HDD 初期化」をタップして設定を行います。

キャンセル : 何もせずに 1 つ前の画面に戻ります。

実行 : 内蔵 HDD の初期化を行います。

- HDD の初期化を行うと、HDD に記録された画像が全て消去されます。
- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

完全初期化

本製品の設定と内蔵 HDD を初期化します。

「完全初期化」をタップして設定を行います。

キャンセル : 何もせずに 1 つ前の画面に戻ります。

実行 : 設定と内蔵 HDD の初期化を行います。

- 完全初期化を行うと、HDD に記録された画像が全て消去されます。
- 初期化が終了すると自動的に再起動します。

ライセンス

内蔵されている各種ソフトウェアのライセンス情報を記載しています。

セキュリティ情報を設定します。

パスワード機能

本製品を使用の際、パスワードを機能させるかどうかを設定します。

初期値は「無効」です。

無効：パスワードの設定不要

有効：パスワードの設定要

パスワード

ログイン時のパスワードを設定します。

初期値は未設定です。

USB 書き出し禁止

USB ポートへの一切のデータ書き出しを禁止します。

初期値は「OFF」です。

- 変更を有効にするには装置の再起動が必要になります。

OFF：USB ポートへの書き出し可

ON：USB ポートへの書き出し禁止

HTML に患者情報を付加

記録した画像の HTML 内に患者情報を付加するかどうかを設定します。

初期値は「ON」です。

ON：患者情報を付加する

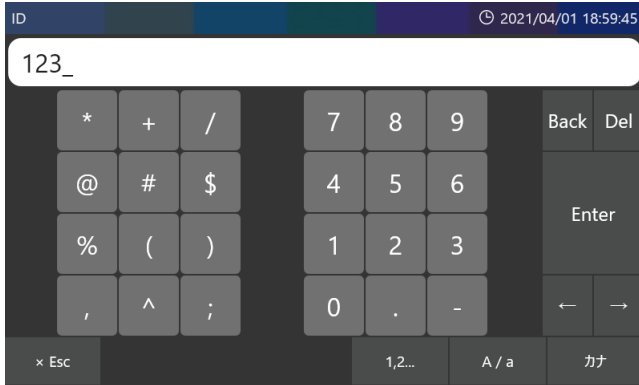
OFF：患者情報を付加しない

文字入力

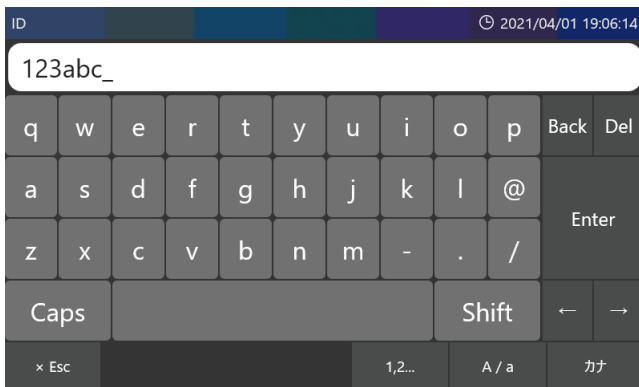
文字入力画面について

文字の入力について説明します。
入力時には以下の3つの画面を使います。

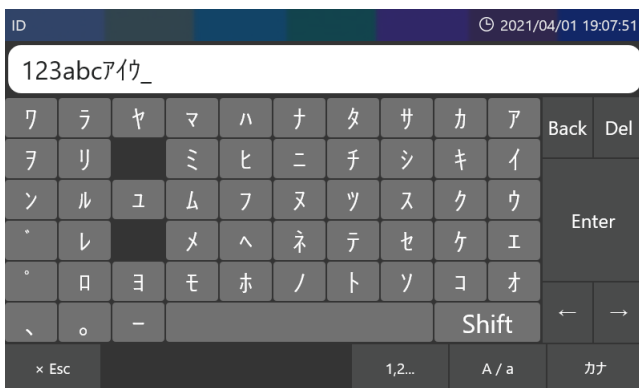
数字 / 記号入力画面



アルファベット入力画面



カナ入力画面



文字の入力

削除を行う場合は、「Back」または「Del」をタップします。
入力を取りやめる場合は「Esc」をタップします。
文字入力の大文字 / 小文字の切り換えを行う場合は「Shift」をタップして入力画面を切り換えます。

エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
内蔵ハードディスクエラー	内蔵ハードディスクへのアクセスでエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクの準備中です。	内蔵ハードディスクの準備を行っています。	内蔵ハードディスクの準備には数分かかります。準備完了後に操作してください。
他のディスクをフォーマット中です。	内蔵ハードディスクまたは USB メディアをフォーマット中です。	フォーマット完了後に操作してください。
パスワードが間違っています。	パスワードが違います。	正しいパスワードを入力してください。
映像入力がありません。	映像信号が入力されていません。	映像入力・映像入力端子を確認してください。
映像入力の切り換え中です。	映像信号を切り換え中です。	映像信号の切り換えには数秒かかります。映像信号切り換え完了後に操作してください。
映像入力を切り換えました。	映像信号を自動で切り換えました。	映像信号切断等で映像信号を切り換えました。
ファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルの読み込みで異常が発生しました。	USB メディアに対する操作の場合、USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ファイルの書き込みに失敗しました。	ファイルの書き込みで異常が発生しました。	
ファイルのコピーに失敗しました。	ファイルのコピー中に異常が発生しました。	
コピー元ファイルが見つかりません。	指定したファイルが破損している可能性があります。	ハードディスクに対する操作の場合には、故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクの残り容量がありません。	内蔵ハードディスクに記録可能な空き容量がなくなりました。	内蔵ハードディスクをフォーマットしてください。
内蔵ハードディスクに異常を検出しました。	内蔵ハードディスクの故障の可能性があります。	ティアック修理センターにご連絡ください。
内蔵ハードディスクのフォーマットに失敗しました。		
内蔵ハードディスクのフォーマットを中止しました。	内蔵ハードディスクフォーマットのキャンセル処理が発生しました。	内蔵ハードディスクのフォーマットがキャンセルされました。
記録データがありません。	記録データが一件もありません。	記録後に実行してください。
現在動画を記録中です。	動画記録中には実行できない操作です。	動画記録終了後に実行してください。
予約リスト表示中は記録できません。	予約リスト表示中には実行できない操作です。	予約リストを終了後に実行してください。
静止画の記録ができませんでした。	記録間隔が短すぎます。	記録間隔をあげてください。
静止画の記録に失敗しました。	記録中にエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
現在の状態では静止画の記録ができません。	他の作業を実行中で静止画記録を実行できません。	他の作業が完了後、または IDEL 状態で実行してください。
動画の最大記録可能時間を超過しました。	記録時間が設定された最大時間に達したため、記録を停止しました。	継続して記録が必要な場合は、再度記録操作を行ってください。
動画の記録上限時間を超過しました。		
動画の記録中にメニューを表示することはできません。	動画記録中には実行できない操作です。	動画記録を終了してから行ってください。

エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
動画記録画質の変更に失敗しました。	動画記録画質の設定中に内部エラーが発生しました。	何度か操作を行ってください。同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
動画を再生できません。	動画ファイルが破損している可能性があります。	USB メディアに対する操作の場合、正常な USB メディアを使用してください。ハードディスクに対する操作の場合には、ティアック修理センターにご連絡ください。
現在の状態では動画の記録ができません。	他の作業を実行中で動画記録を実行できません。	他の作業が完了後、または IDLE 状態で実行してください。
アップデートファイルが見つかりません。	アップデートファイルが見つかりませんでした。	USB メディアのアップデートファイルを確認してから操作してください。
アップデートファイルが不正です。	アップデートファイルが破損している可能性があります。	
ネットワーク転送に失敗しました。	ネットワークへの転送処理でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
サーバへの接続に失敗しました。	サーバへの接続でエラーが発生しました。	
CIFS サーバ 1 への接続に失敗しました。	CIFS サーバへの接続でエラーが発生しました。	
FTP サーバ 1 への接続に失敗しました。	FTP サーバへの接続でエラーが発生しました。	
CIFS サーバ 1 の共有フォルダが見つかりません。	CIFS サーバの共有名でエラーが発生しました。	本機の画像サーバ設定の共有名、若しくは CIFS サーバ側の設定の共有フォルダが正しいかをご確認下さい。
FTP サーバ 1 の公開ディレクトリが見つかりません。	FTP サーバの共有名でエラーが発生しました。	本機の画像サーバ設定の共有名、若しくは FTP サーバ側の設定の公開ディレクトリが正しいかをご確認下さい。
CIFS サーバ 1 のファイルの読み込みに失敗しました。	CIFS サーバ側にあるファイル読み込みでエラーが発生しました。	CIFS サーバ側に問題が起きていないか、サーバのログ上の不具合、ネットワーク障害が生じていないか等をご確認下さい。
FTP サーバ 1 のファイルの読み込みに失敗しました。	FTP サーバ側にあるファイル読み込みでエラーが発生しました。	FTP サーバ側に問題が起きていないか、サーバのログ上の不具合、ネットワーク障害が生じていないか等をご確認下さい。
CIFS サーバ 1 へのファイルの書き込みに失敗しました。	CIFS サーバ側へのファイル書き込みでエラーが発生しました。	CIFS サーバ側に問題が起きていないか、サーバのログ上の不具合、ネットワーク障害が生じていないか等をご確認下さい。
FTP サーバ 1 へのファイルの書き込みに失敗しました。	FTP サーバ側へのファイル書き込みでエラーが発生しました。	FTP サーバ側に問題が起きていないか、サーバのログ上の不具合、ネットワーク障害が生じていないか等をご確認下さい。

表示	内容	対処・詳細
CIFS サーバ 1 に接続できません。	CIFS サーバへの接続でエラーが発生しました。	本機の画像サーバ設定のユーザ名とパスワード、若しくは CIFS サーバ側の設定のユーザ名とパスワードが正しいかをご確認下さい。
FTP サーバ 1 に接続できません。	FTP サーバへの接続でエラーが発生しました。	本機の画像サーバ設定のユーザ名とパスワード、若しくは FTP サーバ側の設定のユーザ名とパスワードが正しいかをご確認下さい。
サーバとの通信中に問題が発生しました。	サーバとの通信中にエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
サーバとの通信が中断されました。	サーバとの通信が中断されました。	
NTP サーバに接続できません。	NTP サーバへの接続でエラーが発生しました。	
USB #1 にメディアがありません。	USB メディアが接続されていないか、認識されていません。	本製品で初期化済みの正常な USB メディアを接続してください。
USB #2 にメディアがありません。		
USB #1 の残り容量がありません。	USB メディアに記録可能な空き容量がなくなりました。	十分に空き容量のある新しい USB メディアに交換してください。
USB #2 の残り容量がありません。		
USB #1 の残り容量が少なくなりました。		
USB #2 の残り容量が少なくなりました。	USB メディアに記録可能な空き容量が警告容量になりました。	
USB #1 には記録できません。	旧機種で記録されたメディアであるため書き込み、エラーが発生しました。	旧機種で記録されたメディアであるため書き込みできません。別のメディアをご使用下さい。
	書き込みが禁止されているメディアに書き込み、エラーが発生しました。	書き込みが禁止されているメディアです。別のメディアをご使用ください。
USB #2 には記録できません。	旧機種で記録されたメディアであるため書き込み、エラーが発生しました。	旧機種で記録されたメディアであるため書き込みできません。別のメディアをご使用下さい。
	書き込みが禁止されているメディアに書き込み、エラーが発生しました。	書き込みが禁止されているメディアです。別のメディアをご使用ください。
USB #1 は未フォーマットです。	USB メディアが本製品で初期化されていません。	本製品で初期化済みの正常な USB メディアを接続してください。
USB #2 は未フォーマットです。		
USB #1 は使用できません。	USB ポートに異常が発生しました。	USB メディアを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性あります。ティアック修理センターにご連絡ください。
USB #2 は使用できません。		

エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
USB #1 のフォーマットに失敗しました。	USB メディアが破損している可能性があります。	正常な USB メディアを使用してください。
USB #2 のフォーマットに失敗しました。		
書き込み中に USB #1 の接続不良を検出しました。		
書き込み中に USB #2 の接続不良を検出しました。		
USB1 の安全な取り外しに失敗しました。	USB の取り外し中にエラーが発生しました。	USB は使用中です。しばらく待ってから再試行してください。
USB2 の安全な取り外しに失敗しました。		
USB1 の読み込みに失敗しました。	USB 内のファイルからの読み込みに失敗しました。	読み込み中にエラーが発生しています。USB メディアからの読み込みに失敗したので、手動で再度読み込みを実施してください。
USB2 の読み込みに失敗しました。		
USB1 の書き込みに失敗しました。	USB 内のファイルへの書き込みに失敗しました。	書き込み中にエラーが発生しています。USB メディアへの書き込みに失敗したので、手動で再度書き出しを実施してください。
USB2 の書き込みに失敗しました。		
他のホストと IP アドレスが重複しています。	設定された IP アドレスが他の機器で使用されています。	本製品、もしくは他の機器の IP アドレスを変更し、同じアドレスを使用しないようにしてください。
ネットワーク設定の変更に失敗しました。	ネットワーク処理でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
不正な状態です。	他の作業を実行中で指定された項目の処理に失敗しました。	他の作業が完了後に実行してください。
ID 未入力	ID が未入力での記録を開始しました。	ID を入力してください。
ID が入力されていません。		
まだ記録が行われていません。	記録が行われていない状態での一覧表示操作が行われました。	記録後に実行してください。
範囲外の値が指定されています。	入力された値が、設定できる範囲ではありません。	設定範囲に含まれる値を指定してください。
不正な日時が指定されています。	入力された値が、設定できるものではありません。	設定できる値を指定してください。
入力文字の長さが範囲外です。	入力された値が、設定できる範囲ではありません。	設定範囲に含まれる値を指定してください。
IP アドレスが正しくありません。	入力された値が、設定できるものではありません。	設定できる値を指定してください。
システムエラー	故障の可能性があります。	ティアック修理センターにご連絡ください。
ハードウェアエラー		
CODEC ハードウェアエラー		

点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

点検項目

- 電源コードは正しく接続されていますか？
- 各種端子に正しく接続されていますか？

装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各種の保守点検・保守契約などについては、裏表紙に記載してある連絡先にご相談ください。

本体のクリーニング

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- トップカバーやパネル面が汚れた場合は、消毒用エタノールを少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
- エアゾールクリーナーは使わないで下さい。装置内部に埃等が入る可能性があります。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを痛めることがありますので避けてください。
- 本体に付着した塵や埃は定期的に取り除いてください。

故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。

電源が入らない

- ➔ 電源コードの接続を確認してください。（コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているか）

電源は入るが画像が何も出ない

- ➔ 本体リアパネルの入力 / 出力端子に正しく接続されているか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。
入力選択が正しく設定されているか確認してください。

保証について

- 本製品の保証期間は、購入日から1年間です。
- 次のような場合には、保証期間中であっても有償修理となりますのであらかじめご了承ください。
 - (1) 誤使用による故障、又は損傷
 - (2) 弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による改造、及び修理による故障、又は損傷
 - (3) 納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障、又は損傷
 - (5) 電源、設備環境条件などの、本製品の使用条件を逸脱した外部要因による故障、又は損傷
 - (6) 弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された場合の故障、又は損傷
- 保証期間終了後のアフターサービスについては、有償にてお受け致しますので最寄りの弊社営業所またはティアック修理センターにご相談ください。
- 本製品を運用した結果、及びデータに基づく二次的な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で記録されたデータの、誤操作や突発的な事故などによる消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証をしめすものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの国、地域、自治体の規制に従って廃棄してください。

一般仕様

収録メディア	
内蔵 HDD	2.5inch HDD (1TB)
USB メディア	USB メモリー /HDD
動作姿勢	水平
電源	AC100-240V ±10% 50/60 Hz 1.43-0.86A

動作環境

温度	5 ~ 40℃
湿度	30 ~ 80% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	750 ~ 1040hPa
周囲照明	500Lx 以上
騒音レベル	55 デシベル以下

保存環境

温度	- 20 ~ 60℃
湿度	5 ~ 80% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	600 ~ 1040hPa

輸送環境

温度	- 30 ~ 60℃
湿度	5 ~ 90% RH (非結露)
最大湿球温度	29℃
気圧	600 ~ 1040hPa

外形寸法

本体	202Wx114Hx337D (mm) [突起物除く]
----	--------------------------------

質量

本体	約 3.6 kg
----	----------

規格

安全規格	IEC60601-1 CSA60601-1 EN60601-1
EMC	IEC60601-1-2 EN60601-1-2 FCC ICES-003
認証	NRTL/C CB
登録	FDA

医療機器仕様

電撃に対する保護の分類	Class I 機器
水の有害な侵入に対する保護	通常
空気・可燃性麻酔ガス又は酸素 / 亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスの中での使用の安全に対する分類	空気・可燃性麻酔ガス又は酸素 / 亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスの中での使用に適さない機器。
動作モード	連続稼働機器

インターフェース

LAN	100Base-TX/1000Base-T (RJ45)
前面 USB	USB3.0 × 2
背面 USB	USB2.0 × 4
外部トリガ	3.5mm ステレオミニジャック × 2

ビデオ仕様

映像 / 音声入力信号

VIDEO 1.0 Vpp 75Ω 終端

S-VIDEO

輝度信号 1.0 Vpp 75Ω 終端

色信号 0.286Vpp 75Ω 終端

RGB

映像信号 0.7 Vpp 75Ω 終端

同期信号 0.3 Vpp ~ 4 Vpp 75Ω 終端
(負極性)

SD-SDI

高解像度映像

HDTV

映像信号 0.7 Vpp 75 Ω 終端

同期信号 三値 ±0.3 Vpp 75 Ω 終端

DVI-D

3G/HD-SDI

音声

RCA

ライン 6dBVmax 10kΩ 以上 不平衡

マイク -14dBVmax (+20dB ゲイン)
10kΩ 以上 不平衡 (マイク)

プラグインパワーコンデンサーマイク用

映像 / 音声出力信号

VIDEO 1.0 Vpp 75Ω 終端

S-VIDEO

輝度信号 1.0 Vpp 75Ω 終端

色信号 0.286Vpp 75Ω 終端

RGB

映像信号 0.7 Vpp 75 Ω 終端

同期信号 4 Vpp 75Ω 終端
(負極性)

SD-SDI

高解像度映像

HDTV

映像信号 0.7 Vpp 75 Ω 終端

同期信号 三値 ±0.3 Vpp 75 Ω 終端

DVI-D

3G/HD-SDI

音声

RCA 6dBVmax 270Ω 不平衡

映像データ処理

静止画非圧縮方式 TIFF

静止画圧縮方式 JPEG

動画圧縮方式 H.264

最大動画記録時間 24 時間

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に搭載されるソフトウェアには、ティアック株式会社（以下「弊社」とします）が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれております。これらのソフトウェアに関する本お知らせを必ずご一読くださいますようお願い申し上げます。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、GNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリストにつきましては、本体に同梱されています。(52 ページ)

ソースコードの入手をご希望されるお客様は、以下のURLにアクセスの上、登録フォームからご要求ください。

<http://teac-global.com/support/opensource/form/>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

保証書の発行は、弊社 Web サイトの製品保証登録ページからも可能です。下記の製品保証登録ページからお客様の情報をご入力いただいた場合も、下記の無料修理規定の内容に沿って無料で修理を行います。ご入力いただいたお客様の情報は弊社にて管理し、登録完了後メールにて保証書を発行いたします。

ティアック 医用画像製品サイト 製品保証登録ページ <https://teacmv.jp/warranty.html>

保証書

型名	UR-X		
シリアル	No.		
保証期間	本体	1年	
お買上げ日	年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	電話	()	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店	所在地・名称 (印)
	電話 ()

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。
- ご転居等でお買上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品に関するお問い合わせは

情報機器事業部 イメージングシステムソリューション部 メディカルシステム営業課 までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30~12:00/13:00~17:00です。

営業課

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
電話: 042-356-9160
FAX: 042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター
までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30~12:00/13:00~17:00です。

ティアック修理センター サービス部 情報サービス課

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
電話: 04-2901-1037
FAX: 04-2901-1042

●住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。